

# 教授要綱 シラバス

令和3年 1月18日

No.01

授業科目名	化学	講義	所属・役職名 相模女子大学高等部講師 氏名 村田千佳子
単位	2	単位	連絡先
分類	必修	選択必修	
学年	1年	2年	
学期	前期	後期	
曜日・回数	火曜日	15回 30時間	
時限	3限	13:00~14:30	
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			TEL
化学は、物質の性質・構造・変化に関する学問である。化学の基礎知識を身につけ、医療現場の種々雑多な歯科材料などの物質の特性を理解し、扱うことができるようにする。			携帯
			E-mail
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備考
1回目	物質の分類と構造		教科書1章①
2回目	原子の構造		教科書1章②~④
3回目	化学結合		教科書1章⑥
4回目	原子量・分子量・物質量		教科書1章⑤
5回目	化学反応式		教科書5章①
6回目	酸と塩基		教科書3章④
7回目	中和反応		教科書3章④
8回目	水素イオン濃度とpH		教科書3章④
9回目	酸化と還元		教科書4章
10回目	有機化合物と無機化合物		教科書6章①
11回目	炭化水素		教科書6章②④
12回目	アルコール		教科書6章⑤④
13回目	アルデヒド・ケトン・カルボン酸		教科書6章⑤④
14回目	エステル・油脂		教科書6章⑤④
15回目	試験		
<b>評価方法</b>			
授業中の小テスト・課題			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本 化学		
<b>副読本・資料</b>			
<b>その他</b>	メールアドレスを変更しました。		

教授要綱 シラバス

令和 3 年 2 月 27 日

No.02-1

授業科目名	生物	講義 演習 実習	所属・役職名 元・鶴見大学歯学部 助手
		担当教員	氏名 浅井 純子
単位	2	単位	
分類	必修	選択必修	
学年	1年	2年	
学期	前期	後期	
曜日・回数	木曜日	15回	30時間
時限	2限	10:40 ~	12:10
授業の概要と科目のねらい・到達目標			
生物の成り立ち、仕組み、働きについて一般的な理解を目指す。			
授業計画・内容 (進度・予定)			備考
1回目	生命とは何か	p1~13	
2回目	生命の単位	p15~26	
3回目	細胞のさまざまな活動	p27~35	
4回目	細胞の一生	p36~40	
5回目	個体の成り立ち	p40~47	
6回目	生殖	p49~54	
7回目	遺伝と遺伝子①	p55~59	
8回目	遺伝と遺伝子②	p60~68	
9回目	発生	p69~72	
10回目	環境と動物の反応	p73~83	
11回目	内部環境を保つ仕組み	p84~96	
12回目	動物の行動と進化	p97~105	
13回目			
14回目			
15回目			
評価方法			
本試験とレポートから判断する			
教科書	最新歯科衛生士教本 生物学 全国歯科衛生士教育協議会		
副読本・資料	必要に応じ適宜資料を配布する。		
その他	事前配布の資料により各自予習して授業に臨むこと。		

教授要綱 シラバス

令和 3 年 3 月 3 日

No.2-2

授業科目名	生物学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 舟渡病院 小児科 常勤務医 氏名 貞永 摩美華	
単位	単位		連絡先		
分類	必修 選択必修			TEL	- -
学年	1年 ・ 2年			携帯	- -
学期	前期 ・ 後期			E-mail	
曜日・回数	水 曜日 2回 4時間				
時限	3~4限 10:50 ~ 12:30				
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b> 女性のQOL向上を目的に、女性特有な心身にまつわる基本を学ぶ。					
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備考		
1 回目	基本的な解剖、生理機能を学ぶ				
2 回目	女性特有な疾患を学ぶ				
3 回目					
4 回目					
5 回目					
6 回目					
7 回目					
8 回目					
9 回目					
10回目					
11回目					
12回目					
13回目					
14回目					
15回目	定期テスト				
<b>評価方法</b> 学則の試験規定で評価する					
<b>教科書</b> なし					
<b>副読本・資料</b> 必要に応じて適宜資料を配布する					
<b>その他</b>					

教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 23 日

No.03

授業科目名	心理学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 日本女子大学 心理学科 学術研究員 氏名 大熊 加奈子
単位	2	単位	連絡先	TEL
分類	必修	選択必修		携帯 090 - 3696 - 1830
学年	1年	2年		E-mail k.okuma@nifty.com
学期	前期	後期		
曜日・回数	水曜日	15回		30時間
時限	3限	13:00~14:30		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

心理学の主要な研究領域について、基礎的知見を概説する。人の心や行動の仕組みについて、基本的な知識を身に付けながら、自己と他者を客観的に理解する力を養う。また、歯科医療現場において有用なコミュニケーションスキルの習得も目指す。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	オリエンテーション、心理学の歴史、知覚心理学	教科書第15章、第1章
2回目	学習心理学(条件づけ、記憶のメカニズム)	第2章
3回目	動機づけ(種類とメカニズム)、欲求	第3章
4回目	感情、フラストレーション、ストレス	第4章
5回目	人格心理学(パーソナリティの分類)、心理アセスメント	第5章
6回目	臨床心理学①(精神疾患)	第5章、第12章
7回目	知能(知能の構造、測定方法)、知的発達症、認知症	第6章
8回目	比較心理学(問題解決、試行錯誤)	第7章
9回目	発達心理学①(胎児期~児童期)、発達障害	第8章
10回目	発達心理学②(青年期~老年期)	第9章
11回目	社会心理学①(対人認知、帰属理論、対人魅力)	第10章
12回目	社会心理学②(集団心理)	第11章
13回目	臨床心理学②(心理療法)	第12章、第13章、第14章
14回目	臨床心理学③(コミュニケーションスキル)	第13章、第14章
15回目	総括	

評価方法

出席状況および、学習意欲(授業時の発言、課題の提出など)、本試験によって総合的に評価する。

教科書

「最新 歯科衛生士教本 心理学」(医歯薬出版株式会社)

副読本・資料

授業内容に対応した資料、レジュメを授業毎に配布

その他

授業前に教科書の該当ページに目を通しておくと良い

# 教授要綱 シラバス

令和3年1月22日

No.04

授業科目名	倫理学	○講義	担当教員	所属・役職名 鶴見大学 名誉教授 氏名 関根 透	
単位	2	単位	連絡先		
分類	必修	選択必修			
学年	○1年 ・ 2年				
学期	○前期 ・ 後期			TEL	
曜日・回数	月曜日	15回		30時間	携帯
時限	4限	～			E-mail
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>					

現在の複雑で多様化している日本の社会の中で「より善く生きる道」として先人の倫理的な叡智から学びたいと思うので、先人の行動や業績を説明する。真摯に生きた先人の生き方には私たちに感動と真の生き方を教えてくれる。その先人の叡智は、主に西洋の倫理思想から学びたいと思う。

授業計画・内容	(進度・予定)	備考
1回目	オリエンテーションと倫理(学)の意義と意味	
2回目	古代ギリシャの倫理思想 1	
3回目	古代ギリシャの倫理思想 2	
4回目	古代ギリシャの倫理思想 3	
5回目	イタリア・ルネサンスの倫理思想	
6回目	北方ルネサンスから宗教改革の倫理思想	
7回目	イギリス経験論の倫理思想	
8回目	大陸合理論とフランス啓蒙主義	
9回目	ドイツ観念論から現代倫理思想へ	
10回目	初期実存主義者の倫理思想	
11回目	ニーチェとキルケゴールの実存的倫理思想	
12回目	ニーチェの実存思想の詳述	
13回目	サルトルの実存思想とフランスの実存主義者	
14回目	現在日本の伝統的倫理思想と医療倫理の状況	
15回目	まとめ、質疑応答、試験についての説明等	
<b>評価方法</b>		
試験の成績、提出物、日常の出席態度や出席率を総合的に評価する。		
<b>教科書</b>	配布プリント	
<b>副読本・資料</b>	関根・竹内共著『人間探求の流れ』	
<b>その他</b>		

教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 22 日

No.05-1

授業科目名	英語	講義	所属・役職名 鶴見大学 文学部非常勤講師
		担当教員	氏名 内田 愛
単位	4	単位	
分類	必修	選択必修	
学年	1年	2年	
学期	前期	後期	
曜日・回数	金曜日	30回	60時間
時限	限	~	
		連絡先	TEL
			携帯
			E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

基礎的な英語力を身に付けると同時に、現場で使える英語表現を学ぶ。  
 また卒業後も必要に応じて独学出来るよう、英語の勉強の仕方についても学ぶ。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	オリエンテーション(授業の進め方などを説明)および英語の基礎を復習する	プリント使用
2回目	テキスト①	
3回目	合同クラス(歯科衛生士科と技工士科) 衛生士の仕事を英語で紹介	歯科衛生士科:テキスト、技工士科:プリント
4回目	テスト(20点) 対象:テキスト① および英語の基礎文法等の復習	
5回目	テキスト②	
6回目	テスト(20点) 対象:テキスト② および英語の基礎文法等の復習	
7回目	合同クラス(歯科衛生士科と技工士科) 衛生士の仕事を英語で紹介、等	歯科衛生士科:テキスト、技工士科:プリント
8回目	テキスト③	
9回目	テスト(20点) 対象:テキスト③ および英語の基礎文法等の復習	
10回目	テキスト④	
11回目	合同クラス(歯科衛生士科と技工士科)衛生士の仕事を英語で紹介、等	歯科衛生士科:テキスト、技工士科:プリント
12回目	テスト(20点) 対象:テキスト④ および英語の基礎文法等の復習	
13回目	テキスト⑤	
14回目	テスト(20点) 対象:テキスト⑤ および英語の基礎文法等の復習	
15回目	総括 (これまでの振り返り、英語の基礎文法等の復習)	プリント使用

評価方法

前期:テスト(20点満点)×5回 計100点で判断する。  
 後期:テスト(20点満点)×5回 計100点で判断する。

教科書

最新 歯科英語 (医歯薬出版)

副読本・資料

その他

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 22 日

No.05-2

授業科目名	英語	講義	担当教員	所属・役職名 鶴見大学 文学部非常勤講師 氏名 内田 愛
16 回目	オリエンテーション および英語カウオームアップ(前期の振り返りなど)			プリント使用
17 回目	合同クラス(歯科衛生士科、技工士科) 歯科衛生士の仕事を英語で紹介、等			歯科衛生士科:テキスト、技工士科:プリント
18 回目	テキスト⑥			
19 回目	テスト(20点) 対象:テキスト⑥ および英語の基礎文法等の復習			
20 回目	テキスト⑦			
21 回目	テスト(20点) 対象:テキスト⑦ および英語の基礎文法等の復習			
22 回目	テキスト⑨			
23 回目	合同クラス(歯科衛生士科、技工士科) 歯科衛生士の仕事を英語で紹介、等			歯科衛生士科:テキスト、技工士科:プリント
24 回目	テスト(20点) 対象:テキスト⑨			
25 回目	テキスト⑬			
26 回目	テスト(20点) 対象:テキスト⑬			
27 回目	合同クラス(歯科衛生士科、技工士科) 歯科衛生士の仕事を英語で紹介、等			歯科衛生士科:テキスト、技工士科:プリント
28 回目	テキスト⑭			
29 回目	テスト(20点) 対象:テキスト⑭			
30 回目	総括(youtubeを利用して、歯科衛生士の仕事を英語で観る)			プリント使用
31 回目				
32 回目				
33 回目				
34 回目				
35 回目				
36 回目				
37 回目				
38 回目				
39 回目				
40 回目				
41 回目				
42 回目				
43 回目				
44 回目				
45 回目				

教授要綱 シラバス

令和3年1月18日

No.06

授業科目名	解剖学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 神奈川歯科大学 准教授 氏名 東 雅啓
単位	2	単位	連絡先	〒
分類	必修	選択必修		TEL
学年	1年	2年		携帯
学期	前期	後期		E-mail
曜日・回数	木曜日	15回		30時間
時限	3限	13:00 ~		14:30
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
<p>人体の形態学的構造を理解する。</p>				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備考
1回目	解剖学概論1			
2回目	解剖学概論2			
3回目	骨格1			
4回目	骨格2			
5回目	筋肉			
6回目	消化器系1			
7回目	消化器系2			
8回目	まとめ1			中間試験
9回目	循環器系1			
10回目	循環器系2			
11回目	神経系1			
12回目	神経系2			
13回目	呼吸器系			
14回目	唾液腺			
15回目	まとめ2			期末試験
<b>評価方法</b>				
<p>中間試験・期末試験・課題レポートを総合して評価する。</p>				
<b>教科書</b>	最新 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版			
<b>副読本・資料</b>	最新 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版			
<b>その他</b>	口腔顎顔面解剖ノート 学建書院			



教授要綱 シラバス

令和3年1月18日

No.07

授業科目名	組織発生学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 神奈川歯科大学 准教授 氏名 東 雅啓
単位	2	単位	連絡先	〒
分類	必修	選択必修		TEL
学年	1年	2年		携帯
学期	前期	後期		E-mail
曜日・回数	木曜日	15回		30時間
時限	4限	14:40		～ 16:10
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
<p>人体の組織・発生学的構造を理解する。</p>				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備考
1回目	細胞			
2回目	組織1			
3回目	組織2			
4回目	発生			
5回目	エナメル質			
6回目	象牙質			
7回目	まとめ1			中間試験
8回目	歯髄・セメント質			
9回目	歯根膜			
10回目	歯槽骨			
11回目	歯肉			
12回目	口腔粘膜			
13回目	歯と歯周組織の発生			
14回目	歯と歯周組織の加齢変化			
15回目	まとめ2			期末試験
<b>評価方法</b>				
<p>中間試験・期末試験・課題レポートを総合して評価する。</p>				
<b>教科書</b>	最新 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版			
<b>副読本・資料</b>	最新 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版			
<b>その他</b>				

# 教授要綱 シラバス

令和 3年 4月 1日

No.08-1

授業科目名	口腔解剖学	講義	所属・役職名 神奈川歯科大学 特任講師
			氏名 松尾智子
単位	4	単位	連絡先
分類	必修 選択必修		
学年	1年 2年		
学期	前期・後期		
曜日・回数	金曜日	30回 60時間	
時限	3限	13:00 ~ 14:30	
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			
<p>歯科衛生士になるためには正常な顔面・口腔の形態を知らなければなりません。前期は、ヒトの歯のかたちを学びます。歯の形態は、咬合・咀嚼・嚥下のはたらきと密接に関連しています。後期で咬合回復に必要な形態と口腔と顔面の基本的な構造を学びます。顎顔面の基本を構成する骨と筋、それらをコントロールする神経と血管について学びます。</p>			
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備考
1回目	歯の形態と構造(1):総論 歯の記号		
2回目	歯の形態と構造(2):歯の形態と構造		
3回目	歯の形態と構造(3):上下顎切歯		
4回目	歯の形態と構造(4):上下顎犬歯		
5回目	歯の形態と構造(5):前歯部の鑑別 中間試験		
6回目	歯の形態と構造(6):上顎小臼歯		
7回目	歯の形態と構造(7):下顎小臼歯		
8回目	歯の形態と構造(8):上顎大臼歯		
9回目	歯の形態と構造(9):下顎大臼歯		
10回目	歯の形態と構造(10):臼歯部の鑑別		
11回目	歯の形態と構造(11):乳歯		
12回目	歯の形態と構造(12):乳歯		
13回目	歯の形態と構造(13):歯の特別な構造		
14回目	歯の形態と構造(14):歯列と咬合		
15回目	前期定期試験		
<b>評価方法</b>	中間試験・本試験・提出物		
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本:口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版) 口腔顎顔面解剖学ノート(学建書院)		
<b>副読本・資料</b>			
<b>その他</b>			

# 教授要綱 シラバス

令和 3年 4月 1日

No.08-2

授業科目名	講義 口腔解剖学	担当教員	所属・役職名 神奈川歯科大学 特任講師 氏名 松尾智子
16 回目	口腔の形態と構造(1):総論		
17 回目	口腔の形態と構造(2):顎顔面の骨(1)		
18 回目	口腔の形態と構造(3):顎顔面の骨(2)		
19 回目	口腔の形態と構造(4):頭頸部の筋(1)		
20 回目	口腔の形態と構造(5):頭頸部の筋(2)		
21 回目	口腔の形態と構造(6):顎関節と下顎運動		
22 回目	口腔の形態と構造(7):顎顔面の動脈(1)		
23 回目	口腔の形態と構造(8):顎顔面の動脈(2)		
24 回目	口腔の形態と構造(9):顎顔面の静脈		
25 回目	口腔の形態と構造(10):顎顔面のリンパ		
26 回目	口腔の形態と構造(11):顎顔面の神経(1)		
27 回目	口腔の形態と構造(12):顎顔面の神経(2)		
28 回目	口腔の形態と構造(13):顎顔面の神経(3)		
29 回目	口腔の形態と構造(14):顎顔面の神経(4)		
30 回目	後期定期試験		
31 回目			
32 回目			
33 回目			
34 回目			
35 回目			
36 回目			
37 回目			
38 回目			
39 回目			
40 回目			
41 回目			
42 回目			
43 回目			
44 回目			
45 回目			

教授要綱 シラバス

令和 3 年 2 月 1 日

No.09

授業科目名	生理学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 田中歯科医院 歯科医師 氏名 田中仁一朗
単位	2	単位	連絡先	TEL
分類	必修	選択必修		携帯
学年	1年	2年		E-mail
学期	前期	後期		
曜日・回数	水曜日	2回		4時間
時限	3~4限	10:50 ~		12:30
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
<p>生物としての人間、すなわちヒトがどのようなしくみで生きているかを理解し、                  歯科衛生士になるための学問的基盤をつくること。</p>				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備考
1回目	生理学序論、細胞			
2回目	血液			
3回目	循環			
4回目	呼吸			
5回目	骨格筋の収縮			
6回目	ニューロンとシナプス			
7回目	末梢神経系・中枢神経系			
8回目	内分泌			
9回目	咬合と咀嚼			
10回目	嚥下・嘔吐			
11回目	口腔感覚(1)			
12回目	口腔感覚(2)			
13回目	唾液および唾液腺			
14回目	総復習・まとめ			
15回目	試験			
<b>評価方法</b>				
定期試験90%、授業態度10%で評価する。				
教科書	「ミニマム生理学」「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」「解剖学・組織発生学・生理学」			
副読本・資料				
その他				

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.10

授業科目名	病理学	講義	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部附属病院病理診断科・科長 氏名 伊藤由美	
単位	2	単位	連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期			TEL	
曜日・回数	火曜日	15回		30時間	携帯
時限	2限	10:40 ~ 12:10		E-mail	

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

疾病(病気)の原因, 種類, 分類について説明できる

疾病(病気)の発生メカニズム, また修復過程について説明できる.

歯牙や歯周組織, 口腔粘膜や顎骨を含む口腔領域に発生する炎症性病変や腫瘍性病変の成り立ちや種類について説明できる

**授業計画・内容 (進度・予定)**

備考

1回目	病理学序論と病因論: 疾患の多様性やその原因について学ぶ	I編 病理学総論 1章
2回目	遺伝性疾患と奇形・口腔領域の奇形: 口腔を含む先天異常の原因と分類について学ぶ	I編 2章& II編 口腔病理学 11章口
3回目	循環障害: 体液循環の障害によって引き起こされる病気の種類について学ぶ	I編 3章
4回目	代謝障害と退行性病変: 細胞障害とそれに伴う疾患について学ぶ	I編 4章
5回目	増殖と修復: 細胞の修復, 再生, また治癒について学ぶ	I編 5章
6回目	炎症と免疫応答異常: 生体の防御機構について学ぶ	I編 6章
7回目	腫瘍: 発生原因や分類, 診断について学ぶ	I編 7章
8回目	歯の発育異常と損傷と着色・付着物: 原因, 分類について学ぶ	II編 1章・2章
9回目	う蝕: 原因や成り立ち, それぞれの特徴について学ぶ	II編 3章
10回目	象牙質・歯髄複合体の病態: 歯髄の病変の特徴や分類について学ぶ	II編 4章
11回目	歯周組織の病態: 歯周病の原因や成り立ちについて学ぶ	II編 5章
12回目	口腔粘膜の病変: 口腔粘膜の病変の種類について学ぶ	II編 6章
13回目	口腔領域の嚢胞と腫瘍・口腔癌: 歯源性・非歯源性の病気にについて学ぶ	II編 7章・8章
14回目	顎骨の病変・唾液腺の病変: 顎骨並びに唾液腺に発生する炎症, 腫瘍について学ぶ	II編 9章・10章
15回目	口腔組織の加齢変化: 加齢的变化でみられる形態学的特徴について学ぶ	II編 12章

**評価方法**

筆記試験(小テストを含む)と授業態度

**教科書**

最新 歯科衛生士教本 疾病の成り立ちおよび回復過程の促進1 病理学・口腔病理学 / 医歯薬出版

**副読本・資料**

**その他**

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 3 月 3 日

No.11

授業科目名	薬理学	講義	担当教員	所属・役職名 元東京医科歯科大学大学院麻酔・生体管理学分野 氏名 深山治久
単位	2	単位	連絡先	TEL
分類	必修	選択必修		携帯
学年	1年	2年		E-mail
学期	前期	後期		
曜日・回数	水曜日	15回		30時間
時限	4限	14:40~16:10		

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

薬理学の基本概念を理解し、歯科衛生士として薬物を安全かつ効果的に使用する基礎的知識を修得する。

- 1.薬物の安全な使用について説明できる。
- 2.薬理作用について説明できる。
- 3.薬物の投与方法と服薬指導について説明できる。
- 4.薬理作用に影響する要因について説明できる。
- 5.薬物の吸収、分布、代謝、排泄について説明できる。
- 6.中枢神経系・末梢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。
- 7.抗炎症薬の種類と作用について説明できる。
- 8.化学療法薬、消毒薬について説明できる。
- 9.全身麻酔・局所麻酔について説明できる。
- 10.歯科用薬物の種類と作用について説明できる。

授業計画・内容	(進捗・予定)	備考
1回目	総論1(薬理学ならびに薬物の定義と分類、薬理作用等)	
2回目	総論2(薬物の作用機序、薬物動態、薬物の投与方法等)	
3回目	総論3(薬理作用に与える影響を与える因子、薬物の副作用)	
4回目	中枢神経に作用する薬物(全身麻酔薬、催眠薬、鎮痛薬、中枢神経興奮薬等)	
5回目	末梢神経に作用する薬物(自律神経作用薬、局所麻酔薬等)	
6回目	呼吸・循環器に作用する薬物(心疾患、高血圧、気管支治療薬)、血液作用薬	
7回目	抗炎症薬1(炎症の定義と経過、ケミカルメディエーター)	
8回目	抗炎症薬2(抗炎症薬の分類)	
9回目	ビタミン・ホルモン(ホルモン製剤)	
10回目	病原微生物に作用する薬物(感染、消毒薬、抗菌薬、歯科臨床での感染予防)	
11回目	悪性腫瘍に作用する薬物、免疫抑制薬	
12回目	腐食・収斂薬	
13回目	歯科薬理学1(う蝕予防薬、歯内療法治療薬、歯周病治療薬)	
14回目	服薬指導	
15回目	まとめ	
<b>評価方法</b>	期末の筆記試験で総合的に評価を行う。 聴講状況および授業態度を総合的に評価に積極的に加味する。	
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本 薬理学、全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版	
<b>副読本・資料</b>	講義前に配布するプリント	
<b>その他</b>		

教授要綱 シラバス

令和 3年 2月 9日

No.12

授業科目名	微生物学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部歯内療法学講座・講師 氏名 長谷川 雅子
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年 2年			
学期	前期 後期			TEL
曜日・回数	月曜日 15回 30時間			携帯
時限	1限 9:00 ~ 10:30			E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

疾病の成り立ち、微生物の正常と病原性を説明できる。

宿主防御機構と免疫を説明できる。

感染対策の意義を説明できる。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	疾病と微生物	
2回目	微生物の病原性 細菌	
3回目	細菌培養、顕微鏡観察	
4回目	グラム陽性球菌・桿菌	
5回目	グラム陰性球菌・桿菌	
6回目	マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア	
7回目	ウイルス	
8回目	真菌、原虫	
9回目	宿主防御機構と免疫	
10回目	液性免疫、細胞性免疫	
11回目	アレルギー	
12回目	口腔感染症	
13回目	化学療法	
14回目	院内感染対策、滅菌と消毒	
15回目	期末試験	

評価方法

衛生士国家試験に準ずる期末試験を実施し、正答6割以上を合格とする。

教科書

最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

副読本・資料

その他

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 3 月 3 日

No.13-1

授業科目名	口腔衛生学	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">講義</div> 演習 実習	担当教員	所属・役職名 鴨志田歯科医院 院長  氏名 鴨志田 義功
単位	4 単位	連絡先		
分類	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">必修</div> 選択必修			
学年	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">1年</div> ・ 2年			
学期	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">前期</div> ・ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">後期</div>			
曜日・回数	月・水 曜日 30回 60時間			
時限	3限: 13:00~14:30 1限: 9:00~10:30			
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>		現在のわが国は超高齢社会を迎えている。この状況に置いて歯科保健活動のあり方もこれまで以上に 変化していくことが求められていると言わざるを得ない。今後、歯科衛生士の役割がますます重要となり、社会の期待も大きくなるものと思われる。  その領域の中で、中心的な位置を占める口腔衛生学について、しっかりした知識を身につけ、かつ、今後の変化に対応できる思考方法や 価値観を身につけることが、授業の目標と考えている。		
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>		備考		
1 回目	総論、口腔衛生学の意義			
2 回目	口腔と健康			
3 回目	歯・口腔の発育と変化			
4 回目	口腔環境			
5 回目	歯・口腔の不潔			
6 回目	口腔清掃			
7 回目	口腔清掃用具			
8 回目	歯磨剤			
9 回目	洗口剤・ブラッシング			
10回目	う蝕の予防 基礎知識①			
11回目	う蝕の予防 基礎知識②			
12回目	予防方法 う蝕予防①			
13回目	う蝕予防②フッ化物を使った予防			
14回目	歯周病の予防①基礎知識 歯周病の予防②			
15回目	定期テスト			
<b>評価方法</b>				
学則の試験規定で評価する  その他、出席、学習意欲、レポート等により総合的に判断する。				
<b>教科書</b>	学建学院 口腔衛生学			
<b>副読本・資料</b>	必要に応じて資料を配布する			
<b>その他</b>				



# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 3 月 3 日

No.13-2

授業科目名	口腔衛生学	講義	担当教員	所属・役職名 鴨志田歯科医院 院長 氏名 鴨志田 義功
16 回目	不正咬合、口臭の予防			
17 回目	その他の歯科疾患・異常の予防			
18 回目	地域歯科保健活動①			
19 回目	地域歯科保健活動②			
20 回目	地域歯科保健のあゆみ8020			
21 回目	地域歯科保健のあゆみ②健康日本21、健康増進法			
22 回目	母子歯科保健①意義			
23 回目	母子歯科保健②1歳6ヶ月児、3歳児健診			
24 回目	学校歯科保健①意義と領域			
25 回目	学校歯科保健②歯科健診			
26 回目	産業歯科保健①概念、職業性疾患			
27 回目	産業歯科保健②産業歯科保健活動			
28 回目	成人の高齢者・要介護者・障害者歯科保健①			
29 回目	成人の高齢者・要介護者・障害者歯科保健②			
30 回目	災害時の歯科保健、国際歯科保健			
31 回目				
32 回目				
33 回目				
34 回目				
35 回目				
36 回目				
37 回目				
38 回目				
39 回目				
40 回目				
41 回目				
42 回目				
43 回目				
44 回目				
45 回目				

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 18 日

No.14

授業科目名	衛生学・公衆衛生学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 日本産業歯科保健研究所・所長 氏名 須賀雅彦
単位	2	単位	連絡先	自宅
分類	必修	選択必修		携帯
学年	1年	2年		E-mail
学期	前期	後期		
曜日・回数	火曜日	15回		30時間
時限	4限	14:40 ~		16:10
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
<p>衛生学・公衆衛生学の目的は、人間の生活環境をより良いものとし、疾病や死に至るリスクから身体を守り、健康の保持・増進を図ることである。更に、QOL(生活の質)を高めることや、ライフステージにおける健康・疾病・保健・環境・衛生・統計を理解し、歯科衛生士国家試験に対応することはもちろん、今後、歯科衛生士として必要な衛生学・公衆衛生学の知識を様々な分野・角度から学び、理解する。</p>				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備考
1回目	総論(公衆衛生とは・健康・予防医学の概念・健康増進・健康づくり・予防医学の分類・歴史)			
2回目	疫学(各種統計手法について)			
3回目	疫学(各種統計手法について)・人口統計(人口統計・人口構造・平均寿命について)			
4回目	保健・医療制度(衛生法規・医療安全制度・医療法・医療従事者)・社会保障・社会福祉制度			
5回目	衛生行政・地域保健(衛生行政・各種関係法規について)			
6回目	成人保健・生活習慣病(成人保健・生活習慣病について・健康づくり・健康日本21)			
7回目	母子保健(母子保健法・統計・管理・対策について)			
8回目	高齢者保健(高齢者医療確保法・介護保険制度)・障害者福祉			
9回目	精神保健(現状・法規・対策・入院の分類について)			
10回目	感染症(感染症の分類・予防対策・動向)			
11回目	感染症(感染症の分類・予防対策・動向)・食品保健(食品衛生・食中毒・栄養について)			
12回目	学校保健(学校保健安全法・学校保健統計・保健教育・保健管理)			
13回目	産業保健(三管理・産業医・産業歯科医の役割・メンタルヘルス・職業性疾患について)			
14回目	環境保健(物理・化学的要因・公害・水・廃棄物処理)・国際保健(WHOについて)			
15回目	期末試験			
<b>評価方法</b>				
期末試験の結果を基本とする。				
<b>教科書</b>				
医療情報科学研究所編集 メディックメディア発行 『公衆衛生がみえる』 3960円				
<b>副読本・資料</b>				
<b>その他</b>				
講義用の資料をその都度、配付します。				

教 授 要 綱 シ ラ バ ス

令和3年1月24日

No.15

授業科目名	衛生行政・社会福祉学	講義	所属・役職名 神奈川県保健福祉事務所足柄上センター元所長
担当教員	氏名	北原 稔	
単位	2	単位	連絡先
分類	必修	・ 選択必修	
学年	1年	・ 2年	
学期	前期	・ 後期	
曜日・回数	木曜日	15回 30時間	
時限	1 時限	9:00~10:30	
			携帯
			E-mail
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			
<p>歯科衛生士として歯科保健医療業務に携わるにあたり、国家資格の免許職が遵守すべき法規を確実に理解しておくとともに、保健・医療・福祉における基本的な制度や法規についても一定水準の知識理解を満たすよう授業を展開する。</p>			
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備考
1回目	衛生行政の目的と組織、歯科衛生士法(1)		
2回目	歯科衛生士法(2)		
3回目	歯科衛生士法(3)		
4回目	歯科衛生士法(4)、歯科医師法(1)		
5回目	歯科医師法(2)、歯科技工士法、歯科口腔保健法、医療法(1)		
6回目	医療法(2)、歯科医療と関わる医療関係者		
7回目	保健師助産師看護師法、診療放射線技師法、言語聴覚士法、医師法、薬剤師法		
8回目	他の医療関係身分法、薬事関係の法規		
9回目	地域保健に関連する法規(地域保健法、健康増進法、母子保健法、学校保健安全法、労働安全衛生法他)		
10回目	その他の衛生法規、社会保障、社会保険～医療保険(1)		
11回目	社会保険～医療保険(2)、介護保険(1)		
12回目	社会保険～介護保険(2)、雇用保険、労働災害補償保険		
13回目	社会福祉～社会福祉行政、生活保護		
14回目	社会福祉～児童家庭福祉制度と法規、障害者福祉制度と法規、老人福祉法		
15回目	医療の動向		
<b>評価方法</b>	毎回の授業参加態度を参考にし、主に期末試験の成績による評価		
	期末テスト		
<b>教科書</b>	最新 歯科衛生士教本 「歯科衛生士と法律・制度」第2版(医歯薬出版)		
<b>副読本・資料</b>	最新 歯科衛生士教本 「保健生態学」第3版(医歯薬出版)、配布プリント		
<b>その他</b>			

# 教授要綱 シラバス

令和3年 1月18日

No.16

授業科目名	歯科臨床概論 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">講義</span> 演習 実習	担当教員	所属・役職名 氏名 片山歯科医院院長 片山繁樹
単位	2 単位	連絡先	
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択必修		
学年	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">1年</span> ・ 2年		
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ 後期		
曜日・回数	火 曜日 15回 30時間		
時限	1 限 9:00～10:30		
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			
1: 歯科医療を担う一員となる為の基礎知識を理解してもらう 2: 歯科医学・歯科臨床の入門であるとともに、歯科診療の流れを紹介し、その中での歯科衛生士の役割を自覚してもらう。 3: 歯科診療所の紹介と、訪れる人とその理由を理解してもらう。 4: 歯科診療所での日常を理解してもらう。 5: 歯科臨床の専門分野を理解してもらう。			
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備考
1 回目	歯科診療とは(歯科臨床の場・歯科衛生士とは・歯科衛生士法)	教科書1章	
2 回目	歯科診療所(歯科診療所のスタッフ・歯科診療所の紹介・歯科医療の変化)	教科書2章	
3 回目	歯科臨床とはⅠ(医療安全管理・医療法・インフォームドコンセント)	教科書3章	
4 回目	歯科臨床とはⅡ(歯科診療の特徴・医療に関する法律・歯科チーム医療)	教科書3章	
5 回目	歯科臨床とはⅢ(歯科診療所における業務・歯科衛生業務)	教科書1章	
6 回目	歯科診療の流れ(ライフステージと歯科診療の分野)	教科書2章	
7 回目	診査・検査・前処置Ⅰ(バイタルサイン・歯周組織の検査・痛みコントロール)	教科書2章	
8 回目	診査・検査・前処置Ⅱ(画像検査・歯科放射線・エックス線の基礎知識)	教科書2章 歯周治療	
9 回目	歯周治療	教科書2章 小児歯科・歯科矯正	
10回目	小児歯科・歯科矯正	教科書2章 歯科保存	
11回目	歯科保存・歯内療法	教科書2章 口腔外科 歯科補綴	
12回目	歯科口腔外科・歯科補綴・インプラント	教科書2章 障害者歯科 高齢者歯科	
13回目	障害者歯科・高齢者歯科		
14回目	まとめ(Ⅰ)		
15回目	試験		
<b>評価方法</b>			
出席・小テスト(30%)・学期末の本試験(70%)により判断する			
<b>教科書</b>	歯科衛生士の為の歯科臨床概論 松井恭平著 医歯薬出版		
<b>副読本・資料</b>	レジュメ・プリント等・適宜資料配布する		
<b>その他</b>	メールアドレスを変更しました。		

教授要綱 シラバス

令和 3 年 3 月 3 日

No.17-1

授業科目名	歯科保存学 (保存修復)	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 中村 歯科医院 氏名 中村 昌人	
単位	1	単位	連絡先		
分類	必修	選択必修			
学年	1年	2年			
学期	前期	後期		TEL	
曜日・回数	木曜日	7/15回		14/30時間	携帯
時限	1限	9:00~10:30			E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

保存修復学の理論と実際を講義して歯科衛生士として臨床で応用できる学力を身につける。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1 回目	歯の保存療法とは	
2 回目	保存修復の概要	
3 回目	コンポジットレジン修復	
4 回目	セメント修復	
5 回目	間接法修復	
6 回目	保存修復におけるしか歯科衛生士の役割	
7 回目	ベニア修復	
8 回目		
9 回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目	定期テスト	

評価方法

学則の試験規定で評価する

教科書

最新歯科衛生士教本 歯科保存修復・歯内療法 医歯薬出版株式会社

副読本・資料

必要に応じて適宜資料を配布する

その他

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 2 月 12 日

No.17-2

授業科目名	歯科保存学 (歯内療法)	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部 歯内療法学講座  氏名 細 矢 哲 康
単 位	1 単 位	連絡先		
分 類	必修 選択必修			
学 年	1年 ・ 2年			
学 期	前 期 ・ 後 期			
曜日・回数	金 曜 日 8/15 回 16/30時間			
時 限	1限 9:00~10:30			
自宅 携帯 E-mail				
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の病態、予防、診査、診断、治療法を理解、修得する。				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備 考
1 回目	総論 歯内治療の目的と意義、治療の概要			
2 回目	歯および歯周組織の構造と機能、硬組織疾患			
3 回目	歯髄疾患			
4 回目	根尖性歯周疾患			
5 回目	根管治療、根管充填			
6 回目	外科的歯内療法、手術用顕微鏡、歯の外傷			
7 回目	高齢者の歯内療法、歯内療法における偶発症と安全対策			
8 回目	試 験			
9 回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
<b>評価方法</b>				
定期試験をもとに総合評価として60点以上を合格とする。 講義中の質疑応答により加点することがある。				
<b>教科書</b>				
<b>副読本・資料</b>				
<b>その他</b>				

# 教授要綱 シラバス

令和3年1月20日

No.18-1

授業科目名	歯周療法学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部歯周病学講座・講師 氏名 白川 哲	
単位	1	単位	連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期			自宅	
曜日・回数	木曜日	15回		30時間	携帯
時限	3限	13:10~14:50		E-mail	

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

一般目標: 歯科衛生業務を行なうために必要な歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。

到達目標

- ・歯周病の種類と症状を説明できる。
- ・歯周外科手術の介助の概要を説明できる。
- ・歯周治療の流れを説明できる。
- ・口腔機能回復治療の概要を説明できる。
- ・歯周病検査法と検査結果を説明できる。
- ・歯周治療の再評価が出来る。
- ・歯周基本治療の術式と適応症を説明できる。
- ・歯周治療後のメンテナンスおよびSPTを説明できる。
- ・歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。

授業計画・内容	(進度・予定)	備考	
1回目	歯周治療とは (I編1章)	・歯周疾患の現状と治療 ・歯科衛生業務と歯周治療	
2回目	正常な歯周組織の構造と機能 (I編2章)	・歯周組織の構造 ・歯周組織の機能	
3回目	歯周疾患 (I編3章)	・歯周病の分類	
4回目		・歯周病の原因	
5回目		・歯周医学 ・インプラント周囲疾患	
6回目	歯周治療の進め方 (II編1章)	・歯周病の予防と歯周治療の基本 ・歯周治療の進め方	III編1章①を含む
7回目	歯周病の検査 (II編2章)	・主訴を中心とした一般診査と歯周病診査 ・咬合の診査 ・画像診断 ・その他の診査	III編1章②、③を含む
8回目	歯周基本治療 (II編3章)	・歯周基本治療の目的と効果 ・歯周基本治療の内容と実際 ・薬物療法	

# 教授要綱 シラバス

令和3年1月20日

No.18-2

授業科目名	歯周療法学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部歯周病学講座・講師  氏名 白川 哲
9 回目	スケーリング・ルートプレーニング (SRP) (Ⅲ編1章④)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SRP前の観察</li> <li>・SRPを行うときの注意事項</li> <li>・SRPを行う時期</li> <li>・SRPに用いる器具</li> </ul>		
10回目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手用スケーラーの把持法</li> <li>・グレーシー型キュレット使用時の基本原則</li> <li>・術後評価と処置</li> <li>・シャープニング</li> </ul>		Ⅲ編1章⑧を含む
11回目	歯周外科治療 (Ⅱ編4章)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周外科治療の目的と分類</li> <li>・歯周外科治療後の治癒形態</li> <li>・歯周外科治療の用いる器材</li> <li>・種々の歯周外科治療</li> </ul>		Ⅲ編1章⑤を含む
12回目		<ul style="list-style-type: none"> <li>組織付着療法</li> <li>切除療法</li> <li>歯周組織再生療法</li> <li>歯周形成外科手術</li> </ul>		
13回目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・根分岐部病変の治療</li> <li>・歯周一歯内病変の治療</li> </ul>		
14回目	歯周治療としての口腔機能回復治療 (Ⅱ編5章)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周治療における口腔機能回復治療とは</li> <li>・咬合調整</li> <li>・歯周一矯正治療</li> <li>・歯の固定法</li> <li>・インプラントによる治療</li> </ul>		Ⅲ編1章⑥を含む
15回目	メンテナンス (Ⅱ編6章)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンスの重要性とその意義</li> <li>・メンテナンス、SPTの実際</li> <li>・メンテナンス、SPTの内容</li> </ul>		Ⅲ編1章⑦を含む
<b>評価方法</b>				
・講義の出席、授業態度、定期試験より総合的に判断する。				
<b>教科書</b>		最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版		
<b>副読本・資料</b>		必要に応じ、適宜資料を配付する。		
<b>その他</b>				



# 教授要綱 シラバス

令和3年1月26日

No.19

授業科目名	歯科補綴学	○講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 学校長 細井 紀雄	
単位	1	単位	連絡先		
分類	必修 選択必修				
学年	○1年・2年				
学期	前期・○後期			TEL	
曜日・回数	木 曜日	15回		30時間	携帯
時限	2限	10:40~12:10		E-mail	
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>					
<p>クラウン・ブリッジ、全部床義歯、部分床義歯、インプラント義歯の装置を学び、これらを用いた補綴歯科治療による咀嚼、嚥下、発語の機能回復、審美性の回復について理解を深める。</p>					
<b>授業計画・内容（進度・予定）</b>				備考	
1回目	I編 1章 歯科補綴の概要 ①、②、③				
2回目	1章 歯科補綴の概要 ④、⑤				
3回目	2章 歯科補綴治療の基礎知識 ①、②				
4回目	2章 歯科補綴治療の基礎知識 ③、④				
5回目	II編 1章 補綴歯における 検査 ①、②、③				
6回目	2章 クラウン・ブリッジ治療 ①、②				
7回目	2章 クラウン・ブリッジ治療 ③				
8回目	3章 有床義歯治療 ①、②				
9回目	3章 有床義歯治療 ③				
10回目	3章 有床義歯治療 ④				
11回目	3章 有床義歯治療 ⑤、⑥				
12回目	4章 インプラント治療 ①、②				
13回目	4章 インプラント治療 ③、④、5章 特殊な口腔内装置を用いる治療①、②				
14回目	5章 特殊な口腔内装置を用いる治療 ③、④、⑤、6章 ①、②				
15回目	定期試験				
<b>評価方法</b>					
出席状況、授業態度、定期試験、など学則の試験規定で評価する。					
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 第2版				
<b>副読本・資料</b>	必要に応じて適宜資料を配布する				
<b>その他</b>					

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 23 日

No.20

授業科目名	歯科矯正学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部 名誉教授 氏名 中村 芳樹
単位	1 単位		連絡先	
分類	必修 選択必修			
学年	1年 2年			
学期	前期 後期			TEL
曜日・回数	月 曜日 15 回 30時間			携帯
時 限	2 限 10:40~12:10			E-mail
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
<p>顎口腔系の成長発育について理解する。正常な歯列と咬合について理解する。不正咬合の種類、原因とその影響について理解する。不正咬合の診断に必要な資料と情報を理解する。不正咬合の診断とその治療法について概説できる。歯科矯正装置、器材について概説できる。歯科矯正中の患者の口腔保健指導、口腔ケアと心理的支援を理解する。</p>				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備 考	
1 回目	歯科矯正学の概要			
2 回目	顎顔面の解剖学・成長発育		頭蓋、顎顔面、歯列の成長発育	
3 回目	正常咬合と不正咬合		正常咬合、不正咬合とその分類と原因	
4 回目	矯正歯科診断・頭部エックス線規格写真分析		矯正診断に必要な検査資料とその分析	
5 回目	矯正力の種類と特徴		矯正力の種類と歯の移動時の組織反応	
6 回目	矯正装置		矯正装置の適応症とその作用	
7 回目	矯正治療の実際 1		顎整形治療と矯正治療	
8 回目	矯正治療の実際 2		成長期の治療と成人の治療	
9 回目	矯正診断時の歯科衛生士の業務		矯正の検査、診断時にかかわる業務	
10回目	矯正診療時の歯科衛生士の業務		矯正治療時に関わる業務	
11回目	患者の口腔保健指導と管理		患者へのアプローチ	
12回目	口腔機能療法		MFTについて解説	
13回目	矯正臨床における診療補助・消毒・管理		矯正診療に関わる器材、資料、文書の管理	
14回目	総まとめ			
15回目	定期試験			
<b>評価方法</b>	期末の客観試験、記述試験による総括的評価			
<b>教科書</b>	咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正(全国歯科衛生士教育協議会 監修)			
<b>副読本・資料</b>				
<b>その他</b>	復習(講義内容を整理し、理解して覚える)を励行してください。			

教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 25 日

No.21-1

授業科目名	口腔外科学 (口腔外科分)	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学非常勤講師 氏名 浅田 洸一
単位	1	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		TEL
学年	1年	2年		携帯
学期	前期	後期		E-mail
曜日・回数	金曜日	13/15回 26/30時間		
時限	4	限 14:40~16:10		
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
歯科衛生士に必要な口腔外科学的疾患の基礎的知識を修得する。 口腔外科小手術に用いる器材の準備およびその処置法を習得する。				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			<b>備考</b>	
1回目	口腔外科の概要・歯科治療で問題となる全身疾患			
2回目	口腔外科領域の先天異常・発育異常			
3回目	口腔外科領域の損傷			
4回目	口腔粘膜の疾患			
5回目	口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因			
6回目	口腔領域の炎症性疾患			
7回目	口腔外科領域の嚢胞性病変			
8回目	口腔外科領域の腫瘍および腫瘍類似疾患			
9回目	唾液腺疾患			
10回目	顎関節疾患			
11回目	口腔領域の神経疾患			
12回目	抜歯術			
13回目	口腔外科小手術、止血処置・縫合処置			
14回目				
15回目				
<b>評価方法</b>				
出席、学習態度及び筆記試験などから総合的に判断する。				
<b>教科書</b>	最新 口腔外科・歯科麻酔科全国歯科衛生士教育協議会 監修			
<b>副読本・資料</b>				
<b>その他</b>	必要に応じてプリントなどを配布する。			

教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 25 日

No.21-2

授業科目名	口腔外科学 (歯科麻酔分)	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 元東京医科歯科大学大学院麻酔・生体管理学分野 氏名 深山治久	
単位	1	単位	連絡先		
分類	必修	選択必修			
学年	1年	2年			
学期	前期	後期		TEL	
曜日・回数	水曜日	2/15回		4/30時間	携帯
時限	12月15日	1,2限		9:00~12:10	E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ・歯科治療における局所麻酔・精神鎮静法および全身麻酔の基本を理解する。
- ・歯科治療における全身管理や救急救命処置について理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考
1 回目 局所麻酔・精神鎮静法・全身麻酔	
2 回目 救急蘇生法	
3 回目	
4 回目	
5 回目	
6 回目	
7 回目	
8 回目	
9 回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

評価方法

出席、学習態度及び筆記試験などから総合的に判断する。

教科書	最新 口腔外科・歯科麻酔科全国歯科衛生士教育協議会 監修
副読本・資料	
その他	必要に応じてプリントなどを配布する。

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 2 月 5 日

No.22

授業科目名	小児歯科学	講義	所属・役職名 鶴見大学歯学部小児歯科学講座 講師 氏名 守安 克也
単位	1	単位	連絡先 自宅 携帯 E-mail
分類	必修	選択必修	
学年	1年	2年	
学期	前期	後期	
曜日・回数	火曜日	15回 30時間	
時限	3限	13:10 ~ 14:40	

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

小児の成長発育期にみられる歯・歯周組織および顎顔面頭蓋の正常ならびに異常な発育を理解するために、これらの成長発育過程にみられる正常な発育とこれらを障害する異常や疾患を中心に学習する。さらに、小児の口腔疾患の予防と治療に関する口腔疾患の臨床的特徴ならびにその予防法と治療法の基本を理解するために、乳歯や幼若永久歯に適用される診療の臨床的特徴を学習する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	
1 回目	心身の発育	
2 回目	顔面頭蓋の発育、乳歯・幼若永久歯の特徴	
3 回目	歯の形成 歯の萌出	
4 回目	歯の発育異常(歯数 形態 構造)	
5 回目	歯の発育異常(色調 萌出)	
6 回目	歯列・咬合の発育	
7 回目	歯列・咬合の異常	
8 回目	小児の歯科疾患(乳歯・幼若永久歯のう蝕) 小児のう蝕予防	
9 回目	小児の歯科疾患(歯周疾患 口腔軟組織疾患)	
10回目	小児歯科診療(対応法 ラバーダム防湿)	
11回目	小児歯科診療(診査法 歯冠修復)	
12回目	小児歯科診療(歯内療法)	
13回目	小児歯科診療(外科的処置 外傷の処置)	
14回目	小児歯科診療(咬合誘導)	
15回目	本試験	
<b>評価方法</b>	出席状況、授業態度、本試験により総合的に評価する。	
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本 小児歯科 全国歯科衛生士教育協議会	
<b>副読本・資料</b>	授業プリントを適宜配布する。	
<b>その他</b>		

教授要綱 シラバス

令和3年 3月 3日

No.23

授業科目名	障害者歯科学	講義	所属・役職名 神奈川歯科大学 短期大学部 特任教授
		担当教員	氏名 西村 康
単位	1	単位	
分類	必修	選択必修	
学年	1年	2年	
学期	前期	後期	連絡先
曜日・回数	木曜日	15回	30時間
時限	4限	14:40~16:10	自宅
			携帯
			E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

障害者の歯科治療では患者さんへの対応、治療、全身口腔管理、指導などすべての事柄に対して特別の配慮が必要である。その際に必要な身体的、知的、精神的特徴および障害者を取りまく環境と特有な口腔機能障害について理解するとともに、我々と同じ社会の一員である障害者の生活を知り、歯科衛生士として適切な態度と行動がとれるようになることが本科目の到達目的である。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	障害者および障害者歯科の定義、現状、歴史	
2回目	障害者歯科治療の困難性	教科書P51~77を読む
3回目	障害者歯科患者への歯科的対応	教科書P13~14を読む
4回目	神経発達障害群:知的能力障害	教科書P13~16, 21~23を読む
5回目	神経発達障害群:Down症候群、自閉スペクトラム症	教科書P24~25を読む
6回目	神経発達障害群:注意欠陥・多動症・限局性学習障害	教科書P25~28を読む
7回目	神経疾患:脳性麻痺、発作性疾患	教科書P30~31を読む
8回目	神経・筋疾患:進行性筋ジストロフィー	
9回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患及び患者 ①循環器疾患:高血圧症	
10回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患及び患者 ②狭心症、心筋梗塞、不整脈、ペースメーカー装着者	
11回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患及び患者 ③脳血管障害:脳梗塞、脳出血、くも膜下出血	
12回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患及び患者 呼吸器疾患、代謝性疾患、感染症疾患	
13回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患及び患者 神経・筋疾患・認知症、血液造血器疾患	
14回目	遺伝性疾患:唇顎口蓋裂等 小児感染症:ウイルス性疾患等	
15回目	試験	

評価方法

後期試験(筆記試験50%、客観試験50%)、

教科書

最新歯科衛生士教本 障害者歯科第2版 医歯薬出版

副読本・資料

その他資料は担当教員が用意する

その他

皆さんにとって初めて知ることが多いので、各回の授業後の復習をよく行ってください。さらに毎回の授業の最初に、前回授業についての確認テストを実施しますので、できなかったところはさらに復習を自主的に行ってください。

教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 22 日

No.25

授業科目名	衛生統計学	講義	所属・役職名 鶴見大学・名誉教授	
		担当教員	氏名 鶴本 明久	
単位	1	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年	2年		
学期	前期	後期		
曜日・回数	水曜日	15回 30時間		TEL
時限	4限	14:40 ~ 16:10		携帯
				E-mail
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
<p>授業は資料による講義および演習で構成される。</p> <p>到達目標は、科学的根拠のある保健情報に基づく業務を遂行できる歯科衛生士となるために、疫学手法および衛生統計学を理解する。</p>				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備考	
1回目	予防の概念と予防の評価(衛生統計の意義)			
2回目	歯科疾患の有病状況			
3回目	疫学総論(疫学の基礎と理論)			
4回目	疫学の研究方法(疫学指標)			
5回目	統計学の基本(基礎統計、検定)			
6回目	歯科疾患の疫学指標Ⅰ(う蝕の指標)			
7回目	歯科疾患の疫学指標Ⅱ(歯口清掃の指標)			
8回目	歯科疾患の疫学指標Ⅲ(歯周疾患、その他)			
9回目	わが国の衛生統計(人口、保健医療統計)			
10回目	歯科疾患の疫学			
11回目	歯科疾患の予防方法			
12回目	歯科疾患予防の評価			
13回目	地域歯科保健の健康指標			
14回目	まとめⅠ(疫学研究の基本知識)			
15回目	まとめⅡ(歯科疾患状況と予防方法)			
<b>評価方法</b>				
講義への出席状況及び受講態度を参考とし、筆記試験による成績で評価する				
<b>教科書</b>	口腔衛生学(荒川浩久 他、学健書院)			
<b>副読本・資料</b>				
<b>その他</b>				

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 22 日

No.25

授業科目名	衛生統計学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学・名誉教授  氏名 鶴本 明久	
単位	1	単位	連絡先		
分類	必修	選択必修			
学年	1年	2年			
学期	前期	後期		TEL	
曜日・回数	水曜日	15回		30時間	携帯
時限	4限	14:40 ~		16:10	E-mail
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">授業の概要と科目のねらい・到達目標</div> <p>授業は資料による講義および演習で構成される。</p> <p>到達目標は、科学的根拠のある保健情報に基づく業務を遂行できる歯科衛生士となるために、疫学手法および衛生統計学を理解する。</p>					
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">授業計画・内容（進度・予定）</div>				備考	
1回目	予防の概念と予防の評価（衛生統計の意義）				
2回目	歯科疾患の有病状況				
3回目	疫学総論（疫学の基礎と理論）				
4回目	疫学の研究方法（疫学指標）				
5回目	統計学の基本（基礎統計、検定）				
6回目	歯科疾患の疫学指標Ⅰ（う蝕の指標）				
7回目	歯科疾患の疫学指標Ⅱ（歯口清掃の指標）				
8回目	歯科疾患の疫学指標Ⅲ（歯周疾患、その他）				
9回目	わが国の衛生統計（人口、保健医療統計）				
10回目	歯科疾患の疫学				
11回目	歯科疾患の予防方法				
12回目	歯科疾患予防の評価				
13回目	地域歯科保健の健康指標				
14回目	まとめⅠ（疫学研究の基本知識）				
15回目	まとめⅡ（歯科疾患状況と予防方法）				
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">評価方法</div> <p>講義への出席状況及び受講態度を参考とし、筆記試験による成績で評価する</p>					
教科書	口腔衛生学（荒川浩久 他、学健書院）				
副読本・資料					
その他					



# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 3 月 3 日

No.26

授業科目名	放射線学	講義	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 助教  氏名 伊東 宏和
単位	1	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年	2年		
学期	前期	後期		自宅
曜日・回数	火曜日	8回		携帯
時限	1限	9:00 ~ 10:30		E-mail
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
エックス線を含む放射線について正しく理解し、その影響と防護について説明できる  エックス線装置を含む撮影用器具について理解する  各種エックス線撮影及び写真処理について理解する				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備考
1回目	歯のエックス線写真の特徴, 病的像の成り立ちを理解する			
2回目	放射線の種類を列挙し, その量と人体の影響を理解する			
3回目	人体への影響と放射線防護を理解する			
4回目	歯科用X線装置の構造を理解し, エックス線の発生を説明する			
5回目	エックス線像の成り立ちを説明でき, 撮影用器具を列記できる			
6回目	撮影の原理を説明でき, 撮影補助を理解する			
7回目	パノラマエックス線撮影の原理を理解し, 撮影補助を説明できる			
8回目	写真処理の原理を理解する. その他の画像検査を理解する			
9回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
<b>評価方法</b>				
学則の試験規定で評価する				
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科放射線 医歯薬出版株式会社			
副読本・資料	必要に応じ、適宜資料を配布する			
その他	授業終了時に支持された箇所を各自予習して授業に臨むこと			

# 教授要綱 シラバス

令和 3年 3月 3日

No.27

授業科目名	保険請求	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部 歯内療法学講座  氏名 細 矢 哲 康
単 位	1 単 位	連絡先		
分 類	必修 選択必修			
学 年	1年 2年			
学 期	前期 後期			
曜日・回数	火曜日 8回 16時間			
時 限	1 限 9:00 ~10:30			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				自宅
社会保障制度における医療保険の仕組みを理解し、歯科治療における保険請求の知識を修得する。				携帯
授業計画・内容 (進度・予定)				E-mail
1回目	社会保険の仕組み 1. 社会保障制度、医療保険の仕組み			備 考
2回目	社会保険の仕組み 2. 老人保健の仕組み、保険診療の仕組み			
3回目	保険医療の仕組み 保険医療機関、保険診療録、診療報酬明細書			
4回目	実務1. 保険診療録と診療報酬明細書の記載(傷病名、部位、略号)			
5回目	実務2. 基本診療、指導管理料、歯科衛生実地指導料、検査			
6回目	保険診療(処置1)修復治療、歯内療法、歯周治療			
7回目	保険診療(処置2)補綴治療、外科治療、麻酔、訪問診療、在宅診療			
8回目	試 験			
9回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
評価方法				
定期試験をもとに総合評価として60点以上を合格とする。 講義中の質疑応答により加点することがある。				
教科書	配布プリント			
副読本・資料				
その他				

教授要綱 シラバス

令和 3 年 3 月 3 日

No.28

授業科目名	歯科衛生士概論	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 校長 細井紀雄 他 6 名
単位	2	単位	連絡先	TEL
分類	必修	選択必修		携帯
学年	1年	2年		E-mail
学期	前期	後期		
曜日・回数	金曜日	15回		30時間
時限	2限	10:50 ~		12:30
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
歯科衛生士の歴史、予防の概念を学び歯科衛生業務、医療倫理、日本のみならず海外における歯科衛生活動を理解する。				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備考
1回目	1章 歯科衛生学とは			細井紀雄(学校長)
2回目	2章 歯科衛生士の歴史			細井紀雄(学校長)
3回目	3章 歯科衛生のための理論			鶴本明久先生
4回目	4章 歯科衛生過程			鶴本明久先生
5回目	5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務			鶴本明久先生
6回目	6章 歯科衛生士と医療倫理			関根透先生
7回目	7章 歯科衛生士学			福島俊士先生
8回目	8章 歯型彫刻			小口隆(歯科技工士科 教員)
9回目	9章 歯型彫刻			小口隆(歯科技工士科 教員)
10回目	10章 歯型彫刻			小口隆(歯科技工士科 教員)
11回目	11章 歯型彫刻			小口隆(歯科技工士科 教員)
12回目	12章 災害時における歯科医療			中里先生
13回目	13章 歯科衛生士の動態と実際			浅野美穂華(副校長)
14回目	14章 海外での歯科衛生士活動			浅野美穂華(副校長)
15回目	定期テスト			
<b>評価方法</b>				
学則の試験規定で評価する				
教科書	歯科衛生概論			
副読本・資料	必要に応じ適宜資料を配布する			
その他				

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 2 月 8 日

No.29-1

授業科目名	看護学	講義	所属・役職名 横浜労災看護専門学校 教務長 氏名 今井ミツル
単位	2	単位	連絡先 自宅 携帯 E-mail
分類	必修	選択必修	
学年	1年	2年	
学期	前期	後期	
曜日・回数	水曜日	8/15回 16/30時間	
時限	3・4 限	13:10 ~16:40	
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			
看護の概念を学ぶことにより、患者の安全や安楽について医療チームとして携わることを理解する			
<b>授業計画・内容 (進捗・予定)</b>			<b>備考</b>
1 回目	病院における歯科衛生士の役割 組織、チーム医療		
2 回目	看護の概念 (看護とは) 看護、健康の定義		
3 回目	看護の概念 (看護の対象、目標) ライフステージにおける視点		
4 回目	看護の概念 (看護の役割) 看護の基本となるもの		
5 回目	地域医療活動における歯科衛生士の役割、地域社会と制度		
6 回目	地域医療活動における歯科衛生士の役割、在宅医療とサービス体系		
7 回目	看護の概念 (看護の歴史)		
8 回目	歯科衛生士が知っておくべき看護の技術 (バイタルサイン)		
9 回目			
10 回目			
11 回目			
12 回目			
13 回目			
14 回目			
15 回目			
<b>評価方法</b>			
筆記試験			
<b>教科書</b>	歯科衛生士の看護学大意 第3版		
<b>副読本・資料</b>			
<b>その他</b>			

教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 22 日

No.29-2

授業科目名	看護学(血液検査)	講義 演習 実習	所属・役職名 鶴見大学歯学部・准教授 氏名 中川洋一
単位	2	単位	連絡先 TEL - 携 帯 E-mail
分類	必修・選択必修		
学年	1年・2年		
学期	前期・後期		
曜日・回数	水 曜日 2/15回 4/30時間		
時 限	3, 4 限 13:00 ~ 16:10		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

血液検査の項目と検査の目的ならびに検査結果の意味を説明できる

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考
1 回目 血液学的検査、血液凝固、生化学検査	
2 回目 免疫・血清検査、血液型検査	
3 回目	
4 回目	
5 回目	
6 回目	
7 回目	
8 回目	
9 回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

評価方法

定期試験

教科書

歯科衛生士教本 臨床検査

副読本・資料

その他

# 教授要綱 シラバス

令和 3年 6月 16日

No.29-3

授業科目名	看護学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 東京医科歯科大学・名誉教授 氏名 深山 治久
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			自宅
学期	前期・後期			携帯
曜日・回数	水曜日 4/15回 8/30時間			E-mail
時限	3, 4限 13:10~14:30, 14:40~16:10			

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

看護の知識・技術を学ぶことにより、歯科衛生士として積極的に医歯連携に関与する

**授業計画・内容 (進度・予定)**

備考

1回目	開業歯科医院での歯科衛生士による看護	
2回目	老人保健施設での歯科衛生士による看護	
3回目	急性期病院での歯科衛生士による看護	
4回目	慢性期病院での歯科衛生士による看護	
5回目		
6回目		
7回目		
8回目		
9回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		

**評価方法** 出席状況と筆記試験結果により評価する

**教科書** 歯科衛生士のための看護学大意 第3版 医歯薬出版 2012

**副読本・資料**

**その他**

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日 No.30-1

授業科目名	歯科予防処置 I <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	4 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">1年</span> ・ 2年		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	曜日 60回 120時間		<b>携 帯</b>
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			
う蝕予防法と歯周病予防法の基礎知識を学ぶ。歯周組織の健康像と病的変化を把握する。その手技としての各検査法、スケーリング、PMTCの技術を顎模型上で身につける。また、健康とQOLに関りのある口腔保健管理の理論を学ぶ。予防的歯石除去法の基礎知識を学びそれに用いる器具、器材の使用法と手技を理解する。また、口腔観察の基礎についても学ぶ。う蝕原因、う蝕予防法を理解しその技術習得をする。			
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備 考
1 回目	講義) 予防処置を学ぶにあたってのオリエンテーション1		
2 回目	講義) 予防処置を学ぶにあたってのオリエンテーション2		
3 回目	実習) 器材を理解しながら記名する1		
4 回目	実習) 器材を理解しながら記名する2		
5 回目	講義) 予防処置について・口腔内の基礎知識1		
6 回目	講義) 予防処置について・口腔内の基礎知識2		
7 回目	講義) 歯周病の基礎知識について1		
8 回目	講義) 歯周病の基礎知識について2		
9 回目	講義) う蝕の基礎知識について1		
10回目	講義) う蝕の基礎知識について2		
11回目	講義) 手用スケーラーについて1		
12回目	講義) 手用スケーラーについて2		
13回目	講義) 手用スケーラーについて1		
14回目	講義) 手用スケーラーについて2		
15回目	講義) グラム染色1		
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)		
<b>副読本・資料</b>	配布資料		
<b>その他</b>			

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.30-2

授業科目名	歯科予防処置 I	講義 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
16 回目	実習)グラム染色1			
17 回目	実習)グラム染色2			
18 回目	実習)ビーズ運び・把持法・基本位置訓練・ポジショニング1			
19 回目	実習)ビーズ運び・把持法・基本位置訓練・ポジショニング2			
20 回目	実習)シックルスケーラー・マネキン(1)			
21 回目	実習)シックルスケーラー・マネキン(2)			
22 回目	実習)シックルスケーラー・マネキン(3)			
23 回目	実習)シックルスケーラー・マネキン(4)			
24 回目	実習)キュレットスケーラー・マネキン(1)			
25 回目	実習)キュレットスケーラー・マネキン(2)			
26 回目	実習)キュレットスケーラー・マネキン(3)			
27 回目	実習)キュレットスケーラー・マネキン(4)			
28 回目	実習)各スケーラー操作(1)			
29 回目	実習)各スケーラー操作(2)			
30 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(1)			
31 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(2)			
32 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(3)			
33 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(4)			
34 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(5)			
35 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(6)			
36 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(7)			
37 回目	実習)人工歯石操作 マネキン(8)			
38 回目	講義)スケーラーシャープニングについて1			
39 回目	講義)スケーラーシャープニングについて2			
40 回目	実習)スケーラーシャープニングについて3			
41 回目	実習)スケーラーシャープニングについて4			
42 回目	実習)スケーラーシャープニングについて5			
43 回目	実習)スケーラーシャープニングについて6			
44 回目	講義)スケーラーシャープニングについて7			
45 回目	講義)スケーラーシャープニングについて8			



# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.30-3

授業科目名	歯科予防処置 I	講義 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
46 回目	講義)スケーラーシャープニング・ヒューフレディー1			
47 回目	講義)スケーラーシャープニング・ヒューフレディー2			
48 回目	講義)プロービングと諸審査1			
49 回目	講義)プロービングと諸審査2			
50 回目	講義)歯間離開度・MOD診査			
51 回目	実習)プロービングと諸診査実習(マネキン)1			
52 回目	実習)プロービングと諸診査実習(マネキン)2			
53 回目	実習)プロービングと諸診査実習(マネキン)3			
54 回目	実習)プロービングと諸診査実習(マネキン)4			
55 回目	講義)カリオグラムについて			
56 回目	実習)カリオグラム実習1			
57 回目	実習)カリオグラム実習2			
58 回目	講義)フッ素について			
59 回目	講義)超音波スケーラー・エアスケーラーについて1			
60 回目	講義)超音波スケーラー・エアスケーラーについて2			
61 回目				
62 回目				
63 回目				
64 回目				
65 回目				
66 回目				
67 回目				
68 回目				
69 回目				
70 回目				
71 回目				
72 回目				
73 回目				
74 回目				
75 回目				

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日 No.31-1

授業科目名	歯科予防処置Ⅱ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	3 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	1年 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">2年</span>		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	曜日 45回 90時間		<b>携 帯</b>
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			
う蝕予防法と歯周病予防法の基礎知識を学ぶ。歯周組織の健康像と病的変化を把握する。その手技としての各検査法、スケーリング、PMTCの技術を顎模型上で身につける。また、健康とQOLに関りのある口腔保健管理の理論を学ぶ。予防的歯石除去法の基礎知識を学びそれに用いる器具、器材の使用法と手技を理解する。また、口腔観察の基礎についても学ぶ。う蝕原因、う蝕予防法を理解しその技術習得をする。			
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備 考
1 回目	講義)2年次予防処置についてのオリエンテーション		予防/う蝕
2 回目	講義)1年次総復習テスト		予防/う蝕
3 回目	講義)1年次総復習テストの解答解説		
4 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨		
5 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨		
6 回目	講義)フッ化物について(1)		う蝕
7 回目	講義)フッ化物について(2)		う蝕
8 回目	実習)相互 フッ化物の局所応用		う蝕
9 回目	講義)患者様実習について		
10回目	実習)マネキン・スケーリング基本操作(1)		
11回目	実習)マネキン・スケーリング基本操作(2)		
12回目	実習)フッ化物局所塗布法(マネキン)		う蝕
13回目	実習)相互 フッ化物局所塗布法		う蝕
14回目	講義)フッ化物についてまとめ(3)		う蝕
15回目	講義)カリエスリスク評価について(1)		う蝕
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)		
<b>副読本・資料</b>	配布資料		
<b>その他</b>			

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.31-2

授業科目名	歯科予防処置Ⅱ	講義 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
16 回目	講義)フッ化ジアンミン銀・イオン導入法・小窩裂溝填塞法			う蝕
17 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
18 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
19 回目	講義)小窩裂溝填塞法について(1)			う蝕
20 回目	講義)小窩裂溝填塞法について(2)			う蝕
21 回目	実習)小窩裂溝填塞法 術式確認模型にて			う蝕
22 回目	実習)小窩裂溝填塞法のまとめ			う蝕
23 回目	講義)カリエスリスク評価			う蝕
24 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
25 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
26 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
27 回目	講義)歯周組織検査評価			予防処置
28 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
29 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
30 回目	講義)カリエスリスク評価(2)			う蝕
31 回目	講義)歯周病リスク評価(1)			う蝕
32 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
33 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
34 回目	講義)カリエスリスク評価(3)			う蝕
35 回目	実習)相互 BIT・歯面研磨			予防処置
36 回目	実習)相互 TBI・歯面研磨			予防処置
37 回目	講義)歯周病リスク評価(2)			う蝕
38 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
39 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
40 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
41 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
42 回目	講義)歯科予防処置 メインテナンス評価(1)			予防処置
43 回目			患者様実習	予防処置
44 回目			患者様実習	予防処置
45 回目			患者様実習	予防処置

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.31-3

授業科目名	歯科予防処置Ⅱ	講義 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
46 回目	患者様実習			予防処置
47 回目	患者様実習			予防処置
48 回目				
49 回目	患者様実習			予防処置
50 回目				
51 回目	講義) 歯科予防処置 メンテナンス評価(2)			予防処置
52 回目	講義) 歯科予防処置 メンテナンス評価(3)			予防処置
53 回目	実習) 相互実習1			予防処置/う蝕
54 回目	実習) 相互実習2			予防処置/う蝕
55 回目	実習) 相互実習3			予防処置/う蝕
56 回目	実習) 相互実習4			予防処置/う蝕
57 回目	実習) 相互実習5			予防処置/う蝕
58 回目	実習) 相互実習6			予防処置/う蝕
59 回目	定期試験			予防処置
60 回目	定期試験			う蝕
61 回目				
62 回目				
63 回目				
64 回目				
65 回目				
66 回目				
67 回目				
68 回目				
69 回目				
70 回目				
71 回目				
72 回目				
73 回目				
74 回目				
75 回目				

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.32

授業科目名	歯科予防処置Ⅲ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	1 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	1年 ・ 2年 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">3年</span>		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ 後期		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	曜日 15回 30時間		携 帯
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			
う蝕予防法と歯周病予防法の基礎知識や歯周組織の健康像と病的変化を把握し評価する。その手技としての各検査法、スケーリング、PMTCの技術を相互実習で身につける。また、健康とQOLに関りのある口腔保健管理の理論やその大切さを患者に対して適切に指導しそれに用いる器具、器材の使用法と手技を選択する。また、口腔観察の基礎についても学ぶ。う蝕原因、う蝕予防法を理解しその技術を確立をする。			
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備 考
1 回目	実習)相互:手用スケーラー1		
2 回目	実習)相互:手用スケーラー2		
3 回目	実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)1		
4 回目	実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)2		
5 回目	実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)3		
6 回目	実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)4		
7 回目	実習)相互:口腔内診査1		
8 回目	実習)相互:口腔内診査2		
9 回目	実習)相互:口腔内診査3		
10 回目	実習)相互:口腔内診査4		
11 回目	実習)相互:口腔内診査5		
12 回目	実習)患者様実習1		
13 回目	実習)患者様実習2		
14 回目	実習)患者様実習3		
15 回目	実習)患者様実習4		
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
教科書	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)		
副読本・資料	配布資料		
その他			

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.33-1

授業科目名	歯科保健指導 I <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	4 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> ・選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">1年</span> ・2年		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	曜日 60回 120時間		<b>携 帯</b>
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			歯科保健指導の法的な位置づけの理解と歯科保健指導論の定義、歯科衛生過程、また健康と疫病の概念を理解し、歯・口腔の基礎知識、口腔の2大疾患(う蝕・歯周病)の原因とその予防方法の基礎知識を習得する。さらに行動変容理論を理解し、人々が健康な行動に変容できる指導について学習する。またライフステージ別の特徴とプロフェッショナルケアセルフケアを理解し、対象者の口腔衛生指導方法と清掃用具の選択方法を学ぶ。
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備 考
1 回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(1)		
2 回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(2)		
3 回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(3)		
4 回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(4)		
5 回目	講義)口腔の基礎知識(1)		
6 回目	講義)口腔の基礎知識(2)		
7 回目	講義)う蝕と歯周病の基礎知識1		
8 回目	講義)う蝕と歯周病の基礎知識2		
9 回目	講義)う蝕と歯周病の基礎知識3		
10 回目	実習)口腔の基礎知識(2)		
11 回目	実習)口腔の基礎知識(3)		
12 回目	講義)歯科衛生過程の進め方(1)		
13 回目	講義)歯科衛生過程の進め方(2)		
14 回目	講義)歯科衛生過程の進め方(3)		
15 回目	講義)歯科衛生過程の進め方(4)		
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)		
<b>副読本・資料</b>	配布資料		
<b>その他</b>			

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.33-2

授業科目名	歯科保健指導 I	講義 演習	担当教員	所属・役職名 氏名
				新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
16 回目	講義)フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、口腔清掃方法1			
17 回目	講義)フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、口腔清掃方法2			
18 回目	講義)口腔清掃方法(電動歯ブラシ・音波ブラシ・超音波ブラシ・歯磨剤・洗口剤)1			
19 回目	講義)口腔清掃方法(電動歯ブラシ・音波ブラシ・超音波ブラシ・歯磨剤・洗口剤)2			
20 回目	実習)口腔清掃方法 各種ブラッシング方法1			
21 回目	実習)口腔清掃方法 各種ブラッシング方法2			
22 回目	講義)プラーク付着指数、染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(1)			
23 回目	講義)プラーク付着指数、染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(2)			
24 回目	講義・実習)プラーク付着指数(PCR・OHI・OHI-S・PI・PHP)染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(1)			
25 回目	講義・実習)プラーク付着指数(PCR・OHI・OHI-S・PI・PHP)染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(2)			
26 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(1)			
27 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(1)			
28 回目	実習)歯科衛生士活動の展開(2)			
29 回目	実習)歯科衛生士活動の展開(2)			
30 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の特徴			
31 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の特徴			
32 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)			
33 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)			
34 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の特徴			
35 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の特徴			
36 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)			
37 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)			
38 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の特徴			
39 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の特徴			
40 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の口腔清掃(歯ブラシ選択)			
41 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の口腔清掃(歯ブラシ選択)			
42 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・青年期・成人期の特徴			
43 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・青年期・成人期の特徴			
44 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・口腔清掃(歯ブラシ選択)			
45 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・口腔清掃(歯ブラシ選択)			

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.33-3

授業科目名	歯科保健指導 I	講義 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
46 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の特徴1			
47 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の特徴2			
48 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の口腔清掃(歯ブラシ選択) 1			
49 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の口腔清掃(歯ブラシ選択) 2			
50 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の特徴1			
51 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の特徴2			
52 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の口腔清掃(歯ブラシ選択) 1			
53 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の口腔清掃(歯ブラシ選択) 2			
54 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者1			
55 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者2			
56 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者3			
57 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者4			
58 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者5			
59 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者6			
60 回目	総復習(定期テスト)			
61 回目				
62 回目				
63 回目				
64 回目				
65 回目				
66 回目				
67 回目				
68 回目				
69 回目				
70 回目				
71 回目				
72 回目				
73 回目				
74 回目				



# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.34-1

授業科目名	歯科保健指導Ⅱ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	3 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	1年 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">2年</span> ・ 3年		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	曜日 45回 90時間		<b>携 帯</b>
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>		社会制度、医療制度の変革と人々の生活環境を理解するとともに、歯・口腔の健康を維持・増進するために、予防の概念に基づいた、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識・技術・態度を習得する。地域歯科保健の概要を理解し、対象者の年齢や環境における個人及び集団にふさわしい口腔衛生指導、メンテナンス管理方法、指導案作成の知識、技術の習得、歯科衛生過程に基づいた問題発覚、解決方法、評価について学ぶ。	
<b>授業計画・内容（進度・予定）</b>		備 考	
1 回目	講義) 歯科衛生介入のための歯科保健指導 口腔清掃指導について		
2 回目	講義) 歯科衛生介入のための歯科保健指導 口腔清掃用具(歯ブラシ・デンタルフロス・歯間ブラシ等)		
3 回目	講義) 歯科衛生介入のための歯科保健指導 口腔清掃用具(音波ブラシ・歯磨剤・洗口剤等)		
4 回目	講義) 地域歯科保健指導活動 健康教育(健康教育の概要、進め方、方法)		
5 回目	講義) 地域歯科保健指導活動 実践(小学校、保育園、幼稚園の指導案作成、教育媒体について)		
6 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 1		
7 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 2		
8 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 3		
9 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 4		
10 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 5		
11 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 6		
12 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 7		
13 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 8		
14 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 9		
15 回目	講義) 口腔衛生指導、対象者からの情報収集(口腔観察・PCR・TBI・フロス) 10		
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)		
<b>副読本・資料</b>	配布資料		
<b>その他</b>			

教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.34-2

授業科目名	歯科保健指導Ⅱ	講義 演習	担当教員	所属・役職名	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
				氏名	副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
16 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 妊産婦				
17 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 乳幼児				
18 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 学童				
19 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 青年期・成人期(歯周病)				
20 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 青年期・成人期(補綴物装着者・インプラント)				
21 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 青年期・成人期(義歯装着者)				
22 回目	講義)地域歯科保健指導活動の実践(高齢者保健施設における歯科保健指導)				
23 回目	講義)在宅診療における訪問口腔衛生指導(対象者の把握)				
24 回目	講義)在宅診療における訪問口腔衛生指導(口腔ケア)				
25 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)1				
26 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)2				
27 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)3				
28 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)4				
29 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)5				
30 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)6				
31 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)7				
32 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)8				
33 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)9				
34 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)10				
35 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)11				
36 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)12				
37 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)13				
38 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)14				
39 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)15				
40 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)16				
41 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)17				
42 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)18				
43 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)19				
44 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)20				
45 回目	総まとめ(定期テスト)				
46 回目					
47 回目					
48 回目					
49 回目					
50 回目					
51 回目					
52 回目					
53 回目					
54 回目					
55 回目					
56 回目					
57 回目					
58 回目					
59 回目					
60 回目					

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.35

授業科目名	歯科保健指導Ⅲ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	1 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	1年 ・ 2年 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">3年</span>		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ 後期		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	曜日 15回 30時間		<b>携 帯</b>
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>		地域歯科保健における健康教育の在り方や歯科衛生過程に基づいた、各症例の検討、 摂食性肺炎の予防、口腔粘膜疾患の予防、周術期や在宅での口腔ケア、口腔機能向上など、口腔清掃の自立支援や対象者の健康を 維持するための歯科衛生介入を考え実践できる知識と技術を習得する	
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>		備 考	
1 回目	歯科衛生過程の展開		
2 回目	歯科衛生過程演習オリエンテーション		
3 回目	歯科衛生過程演習Ⅰ(アセスメント・歯科衛生診断・計画立案・介入)1		
4 回目	歯科衛生過程演習Ⅰ(アセスメント・歯科衛生診断・計画立案・介入)2		
5 回目	歯科衛生過程演習Ⅰ(アセスメント・歯科衛生診断・計画立案・介入)3		
6 回目	歯科衛生過程演習Ⅱ(Ⅰの評価及び介入・次回の実施計画立案)1		
7 回目	歯科衛生過程演習Ⅱ(Ⅰの評価及び介入・次回の実施計画立案)2		
8 回目	歯科衛生過程演習Ⅱ(Ⅰの評価及び介入・次回の実施計画立案)3		
9 回目	地域保健活動(障害者)口腔衛生指導および口腔機能向上プログラム演習		
10回目	地域保健活動(高齢者)口腔衛生指導および口腔機能向上プログラム演習		
11回目	地域保健活動(介護予防)口腔衛生指導および口腔機能向上プログラム演習		
12回目	地域保健活動(口腔保健センター)1歳6ヶ月児、2歳6ヶ月児、3歳児口腔衛生指導		
13回目	歯科衛生過程演習Ⅲ(Ⅱの評価及び介入、継続管理)1		
14回目	歯科衛生過程演習Ⅲ(Ⅱの評価及び介入、継続管理)2		
15回目	歯科衛生過程演習Ⅲ(Ⅱの評価及び介入、継続管理)3		
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)		
<b>副読本・資料</b>	配布資料		
<b>その他</b>			

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 22 日

No.36

授業科目名	生化学	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部分子生化学講座・教授 氏名 山越 康雄
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年	・ 2年 ・ 3年		
学期	前期	・ 後期		TEL
曜日・回数	木曜日	15回 30時間		携帯
時限	2限	10:40 ~ 12:10		E-mail
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
<p>私たちは生きていくために様々な食物を摂取しています。口腔はそれら食物摂取の入口であり、生体ではそれら食物からエネルギー物質を含む様々な物質に変換されます。この科目では食物構成成分の構造及び化学反応を理解し、口腔組織構成成分及び口腔内で起こる生命現象を理解することを目的とします。</p>				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備考
1回目	有機化学から生体高分子へ(細胞、ミネラル、水、緩衝作用、酸・塩基平衡)			
2回目	基礎生化学・生体成分(糖、脂質)			
3回目	基礎生化学・生体成分(タンパク質、酵素)(核酸)			
4回目	基礎生化学・代謝(糖質の消化・吸収、代謝)			
5回目	基礎生化学・代謝(脂質の消化・吸収、代謝)			
6回目	基礎生化学・代謝(アミノ酸の消化・吸収、代謝)			
7回目	中間試験			中間試験は山越が担当
8回目	口腔生化学(結合組織:コラーゲン(1))			
9回目	口腔生化学(結合組織:基質成分)(硬組織の有機質)			
10回目	口腔生化学(硬組織の無機質と石灰化機構)			
11回目	口腔生化学(骨のリモデリングとCa代謝)			
12回目	口腔生化学(唾液の生化学)			
13回目	口腔生化学(プラークの生化学)			
14回目	口腔生化学(炎症のケミカルメディエーター)			
15回目	本試験			
<b>評価方法</b>		中間試験と本試験の結果平均で60点以上を合格とする。		
<b>教科書</b>		歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝(医歯薬出版社)		
<b>副読本・資料</b>				
<b>その他</b>		板書スタイルの授業を行うので、ノートをきちんと取ること。		

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 18 日

No.37

授業科目名	栄養指導学	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">講義</div> 演習 実習	担当教員	所属・役職名 東京女子医科大学腎臓小児科 (非常勤講師/管理栄養士)  氏名 濱谷亮子
単位	2 単位		連絡先	
分類	必修 選択必修			
学年	1年・2年・3年			
学期	前期・後期			TEL
曜日・回数	水曜日 15回 30時間			携帯
時限	2限 10:40～12:10			E-mail
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
歯科保健指導や歯科衛生教育を適切に行うために、人が生命を維持するために必要な栄養ならびに食生活について理解することが不可欠である。本科目では栄養と食生活に関する基本的知識を習得する。 【到達目標】1) 健康の維持増進に必要な栄養素の種類や役割を説明できる。 2) 食事摂取基準の概念、各指標の意味を説明できる 3) 五大栄養素ならびに水の生体での役割を説明できる。 4) 食品の成分や物性とその働きを説明できる。 5) 食生活と健康に関する我が国の施策やガイドラインを概説できる。				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備考
1 回目	健康の維持増進のための栄養(Ⅲ編 第1章 栄養の基礎知識)			
2 回目	現代食生活の問題点(Ⅲ編 第1章 栄養の基礎知識)			
3 回目	栄養素の消化・吸収(Ⅲ編 第1章 栄養の基礎知識)			
4 回目	日本人の食事摂取基準(Ⅲ編 第2章 食事摂取基準)			
5 回目	基礎代謝・推定エネルギー必要量の算出方法(Ⅲ編 第2章 食事摂取基準)			
6 回目	三大栄養素のエネルギー摂取比率(Ⅲ編 第2章 食事摂取基準)			
7 回目	栄養素の働き1 三大栄養素(Ⅲ編 第3章 栄養素の働き)			
8 回目	栄養素の働き2 ビタミン・ミネラル・水(Ⅲ編 第3章 栄養素の働き)			
9 回目	国民の健康づくりにおける政策(Ⅳ編 第1章 食生活と健康)			
10回目	ライフステージ別栄養と食生活(Ⅳ編 第1章 食生活と健康)			
11回目	ライフステージ別栄養と食生活2(Ⅳ編 第1章 食生活と健康)			
12回目	食品の機能性と物性(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)			
13回目	食品成分表の活用(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)			
14回目	健康づくりのための食事計画の進め方(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)			
15回目	健康づくりのための食事計画の進め方2(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)			
<b>評価方法</b>				
学期ごとの本試験(期末試験)により評価する				
教科書	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝 全国歯科衛生士教育協議会 監修			
副読本・資料	日本食品成分表2021八訂(医歯薬出版)			
その他	授業終了時に指示された箇所を各自予習し授業に臨むこと。			

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.38-1

授業科目名	歯科診療補助 I <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	2 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">1年</span> ・2年・3年		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	曜日 30回 60時間		<b>携 帯</b>
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>		歯科衛生士法における歯科診療補助業務の位置づけを理解する。また、歯科診療補助と介助の違いを理解し歯科診療における治療の概要、それにおける基礎知識、基礎技術を習得する。また、歯科材料学においては材料のコンシステンシーと操作方法を理解し、歯科材料の科学的基礎知識及び基礎技術を習得する。基礎技術においては顎模型、マネキンを用いて習得する。	
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>		備 考	
1 回目	講義)実習オリエンテーション		
2 回目	講義)歯科診療補助概論(口腔内の基礎知識について)1		
3 回目	講義)歯科診療補助概論(口腔内の基礎知識について)2		
4 回目	実習)衛生材料①・②1		
5 回目	実習)衛生材料①・②2		
6 回目	実習)衛生材料③		
7 回目	実習)衛生材料④		
8 回目	講義)歯科診療室の基礎知識1(歯科材料の種類と特性)		
9 回目	講義)歯科診療室の基礎知識2(歯科器材・機器の種類と特性)		
10回目	講義)医療安全と感染予防		
11回目	講義)消毒と滅菌		
12回目	講義)消毒と滅菌の共同作業		
13回目	講義)石膏について		
14回目	実習)材料の取り扱い(石膏について)1		
15回目	実習)材料の取り扱い(石膏について)2		
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)		
<b>副読本・資料</b>	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学		
<b>その他</b>			

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.38-2

授業科目名	歯科診療補助 I	講義 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
16 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿栓) 1			
17 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿栓) 2			
18 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿球) 1			
19 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿球) 2			
20 回目	講義) アルジネート印象材について			
21 回目	実習) アルジネート印象材の練和1			
22 回目	実習) アルジネート印象材の練和2			
23 回目	実習) アルジネート印象材・印象採得1顎模型			
24 回目	実習) アルジネート印象材・印象採得2顎模型			
25 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得1			
26 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得2			
27 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得3			
28 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得4			
29 回目	講義) 歯科診療補助(前期)まとめ			
30 回目	確認テスト			
31 回目				
32 回目				
33 回目				
34 回目				
35 回目				
36 回目				
37 回目				
38 回目				
39 回目				
40 回目				
41 回目				
42 回目				
43 回目				
44 回目				
45 回目				

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日 No.39-1

授業科目名	歯科診療補助Ⅱ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	6 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> ・選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	1年 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">2年</span> ・3年		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・後期		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	60/90回 120/180時間		<b>携 帯</b>
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>		歯科診療補助に関する知識と基本的技術を習得し、臨床の場に対応し、臨床の場に対応し得る能力を身に着ける。また、歯科診療の補助及び歯科診療の介助について理解し、その基本的知識を学ぶ。基本的技術においては顎模型、マネキン、相互実習の段階を経て習得する。「歯科診療補助Ⅰ（基礎知識・基本技術）」で学んだものを踏まえ、各治療内容に応じた適切な器材セッティング、材料の取り扱いについて留意事項を理解した上で歯科診療の補助に対応できる応用力を身につける。	
<b>授業計画・内容（進度・予定）</b>		備 考	
1 回目	講義)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践1		
2 回目	実習)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践2		
3 回目	実習)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践3		
4 回目	実習)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践4		
5 回目	講義)バキュームテクニックについて		
6 回目	実習)バキュームテクニックの実践・マネキン		
7 回目	講義)口腔内洗浄による共同作業1		
8 回目	実習)口腔内洗浄による共同作業2		
9 回目	講義)合着剤・接着剤について1		
10回目	実習)合着剤・接着剤について2		
11回目	講義)仮封剤について1		
12回目	実習)仮封剤について2		
13回目	実習)合着剤・接着剤・仮封剤の補助1		
14回目	講義)合着剤・接着剤・仮封剤の補助2		
15回目	講義)寒天印象材について1		
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)		
<b>副読本・資料</b>	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学		
<b>その他</b>			



# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.39-2

授業科目名	歯科診療補助Ⅱ	講義 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
16 回目	実習)寒天印象材について2:寒天・アルジネート連合印象(マネキン実習)1			
17 回目	実習)寒天印象材について2:寒天・アルジネート連合印象(マネキン実習)2			
18 回目	講義)合成ゴム印象材・ゴム質印象材の取り扱い1			
19 回目	実習)合成ゴム印象材・ゴム質印象材の取り扱い2(マネキン)			
20 回目	講義)ワックスについて1			
21 回目	講義/実習)各種材料における咬合採得法			
22 回目	講義)ラバーダム防湿法について1			
23 回目	実習)ラバーダム防湿法2			
24 回目	実習)ラバーダム防湿法3			
25 回目	実習)ラバーダム防湿法4			
26 回目	講義)口腔内撮影方法について1			
27 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習1			
28 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習2			
29 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習3			
30 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習4			
31 回目	成形充填(レジン・セメント)			
32 回目	修復物の研磨			
33 回目	ラバーダム防湿法1			
34 回目	ラバーダム防湿法2			
35 回目	ラバーダム防湿法3			
36 回目	ラバーダム防湿法4			
37 回目	ラバーダム防湿法5			
38 回目	ラバーダム防湿法相互実習1			
39 回目	ラバーダム防湿法相互実習2			
40 回目	ラバーダム防湿法相互実習3			
41 回目	ラバーダム防湿法相互実習4			
42 回目	ラバーダム防湿法相互実習5			
43 回目	ラバーダム防湿法相互実習6			
44 回目	エックス線撮影法1			
45 回目	エックス線撮影法2			



# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.39-4

授業科目名	歯科診療補助Ⅱ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	6 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	1年 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">2年</span> 3年		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	前期 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	30/90回 60/180時間		<b>携 帯</b>
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>		歯科診療補助に関する知識と基本的技術を習得し、臨床の場に対応し、臨床の場に対応し得る能力を身に着ける。また、歯科診療の補助及び歯科診療の介助について理解し、その基本的知識を学ぶ。基本的技術においては顎模型、マネキン、相互実習の段階を経て習得する。「歯科診療補助Ⅰ（基礎知識・基本技術）」で学んだものを踏まえ、各治療内容に応じた適切な器材セッティング、材料の取り扱いについて留意事項を理解した上で歯科診療の補助に対応できる応用力を身につける。	
<b>授業計画・内容（進度・予定）</b>		備 考	
61 回目	保存治療時の診療補助		
62 回目	保存治療時の診療補助		
63 回目	保存治療時の診療補助		
64 回目	保存治療時の診療補助		
65 回目	保存治療時の診療補助		
66 回目	保存治療時の診療補助		
67 回目	保存治療時の診療補助		
68 回目	保存治療時の診療補助		
69 回目	暫間被覆冠		
70回目	暫間被覆冠		
71回目	暫間被覆冠		
72回目	暫間被覆冠		
73回目	暫間被覆冠		
74回目	暫間被覆冠		
75回目	暫間被覆冠		
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)		
<b>副読本・資料</b>	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学		
<b>その他</b>			



# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.40

授業科目名	歯科診療補助Ⅲ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">演習</span> 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	1 単位	連絡先	〒 222-0033
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 選択必修		神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
学年	1年 ・ 2年 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">3年</span>		新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ 後期		TEL 045- 474 -3741
曜日・回数	曜日 15回 30時間		<b>携 帯</b>
時 限	限 ~		E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>		「歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術)」で学んだ歯科診療補助に関する知識とその基本的技術の反復練習を行い、臨床の場での対応能力についてさらに伸長させる。また歯科診療の補助及び歯科診療の介助についてのさらなる理解とその基本的知識を学ぶ。基本的技術では顎模型、マネキン、相互実習、の段階を経た習熟を行う。各課程で学んだことを踏まえ、体的留意事項を理解し応用力を身につける。	
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>		備 考	
1 回目	講義)各種隔離法/歯周パックの取り扱い1		
2 回目	実習)各種隔離法/歯周パックの取り扱い2		
3 回目	講義)暫間固定法 基礎知識		
4 回目	実習)暫間固定法 マネキン実習		
5 回目	講義)口腔外科器材の取り扱い(使用器材名称と用途)		
6 回目	実習)口腔外科器材の取り扱い実践		
7 回目	矯正歯科診療の流れ(使用器材の名称と用途)		
8 回目	矯正歯科診療の流れ(ブラケット装着方法)		
9 回目	矯正歯科診療の流れ(ブラケット撤去方法)		
10回目	個人トレー使用目的、材料の取り扱い1		
11回目	実習)個人トレー使用目的、材料の取り扱い2		
12回目	シリコーンゴム印象材による精密印象採得1		
13回目	実習)シリコーンゴム印象材による精密印象採得2		
14回目	実習)各種材用別咬合採得1(相互)		
15回目	実習)各種材用別咬合採得2(相互)		
<b>評価方法</b>			
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
<b>教科書</b>	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)		
<b>副読本・資料</b>	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学		
<b>その他</b>			

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.41-1

授業科目名	臨床実習(前半)	講義 演習 <b>実習</b>	担当教員	所属・役職名 臨床実習歯科医院 勤務歯科医師  氏名 下記備考欄参照
単位	14	単位	連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
分類	<b>必修</b> ・選択必修			TEL 045-474-3741
学年	2年			携 帯 - -
学期	前期・ <b>後期</b>			E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
曜日・回数	月曜日～水曜日、金曜日	67.5回 630時間		
時 限	1回 420分(45分=1時間)			

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

学校で学んだ基礎知識や技術を基に、臨床歯科医院における歯科衛生士の仕事や役割について学ぶ。また患者を中心として展開されるチーム医療について理解する(①診療準備 ②診療補助 ③インシナルプレパレーションにおける歯科衛生士の仕事の見学と理解)。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士によるチームアプローチの流れを理解すること。包括的歯科臨床において、実習で学んだ知識と技術を少しでも身につけて今後に生かしてもらう。

【目標】・診療室の清掃、診療器具類の消毒、滅菌法などを理解する・各種の充填材料、セメント類の取り扱い法を理解し、治療の準備と見学、補助を行なう。

・歯科医院における歯科衛生士の業務内容を理解する・チームの一員として協働し、業務を展開することができる

### 授業計画・内容 (進度・予定)

	授業計画・内容 (進度・予定)	備 考
1 回目	臨床実習オリエンテーション I	以下、臨床実習指導教員
2 回目	医療人としての基本姿勢①身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	浅野 倉栄、片山 繁樹、
3 回目	医療人としての基本姿勢②身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	鴨志田 義功、鈴木 東次、
4 回目	医療人としての基本姿勢③身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	八幡 牧雄、高橋 宏嘉、
5 回目	医療人としての基本姿勢④身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	小泉 日出一、後藤 哲哉、
6 回目	医療人としての基本姿勢⑤身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	三條 京子、秋本 尚武、
7 回目	医療人としての基本姿勢⑥身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	夏堀 祥二郎、酒井 康二、
8 回目	医療人としての基本姿勢⑦身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	伊藤 孝介、大橋 延弘
9 回目	医療人としての基本姿勢⑧身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	地挽 雅人、小石 健
10回目	医療人としての基本姿勢⑨身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	川崎 正仁、鈴木 弘毅
11回目	医療人としての基本姿勢⑩身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
12回目	医療人としての基本姿勢⑪身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
13回目	医療人としての基本姿勢⑫身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
14回目	医療人としての基本姿勢⑬身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	
15回目	医療人としての基本姿勢⑭身だしなみ・挨拶・患者対応・態度	

### 評価方法

知識・技術・実習態度・身装・口頭試験 特に、個人の実習に対する積極性及び総合的判断能力を重点的に評価する。

### 教科書

教科書 : 「専門科目の教科書」

### 副読本・資料

参考書 : 「臨床実習帳」

### その他

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.41-2

授業科目名	臨床実習(前半)	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 臨床実習歯科医院 勤務歯科医師 氏名 下記備考欄参照
16 回目	受付(問診表の記載内容・診療録準備)①			備考
17 回目	受付(問診表の記載内容・診療録準備)②			以下、臨床実習指導教員
18 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生①感染予防対策の知識			浅野 倉栄、片山 繁樹、
19 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生②感染予防対策管理			鴨志田 義功、鈴木 東次、
20 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生③感染予防対策の実践			八幡 牧雄、高橋 宏嘉、
21 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生④臨床検査法			小泉 日出一、後藤 哲哉、
22 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生⑤救急処置			三條 京子、秋本 尚武、
23 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生⑥心肺蘇生			夏堀 祥二郎、酒井 康二、
24 回目	エックス線写真撮影①防護方法			伊藤 孝介、大橋 延弘
25 回目	エックス線写真撮影②検査目的			地挽 雅人、小石 健
26 回目	エックス線写真撮影③咬合法撮影法			川崎 正仁、鈴木 弘毅
27 回目	エックス線写真撮影④咬翼法撮影			
28 回目	エックス線写真撮影⑤パノラマエックス線撮影			
29 回目	エックス線写真撮影⑥頭部エックス線写真規格撮影法			
30 回目	エックス線写真の現像と管理①フィルム手現像方法			
31 回目	エックス線写真の現像と管理②インスタント現像方法			
32 回目	エックス線写真の現像と管理③自動現像方法			
33 回目	材料の取り扱い①模型作製			
34 回目	材料の取り扱い②個人トレー・個歯トレー作製			
35 回目	材料の取り扱い③セメントの取り扱い			
36 回目	共同作業①患者の誘導			
37 回目	共同作業②バキューム操作			
38 回目	共同作業③ライティング操作			
39 回目	麻酔①局所麻酔の知識と取り扱い			
40 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導①フッ素の局所応用			
41 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導②小窩裂溝填塞法			
42 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導③口腔内検査			
43 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導④スケーリング			
44 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導⑤歯面研磨			
45 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導⑥保健指導			





# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.42-1

授業科目名	臨床実習(後半)	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 臨床実習歯科医院 勤務歯科医師 氏名 下記備考欄参照	
単位	14	単位	連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10	
分類	必修・選択必修			TEL	045-474-3741
学年	1年・2年・3年			携帯	-
学期	前期・後期			E-mail	<a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
曜日・回数	月曜日～水曜日、金曜日	67.5回		630時間	
時限	1回 420分(45分=1時間)				

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

学校で学んだ基礎知識や技術を基に、臨床歯科医院における歯科衛生士の仕事や役割について学ぶ。また患者を中心として展開されるチーム医療について理解する(①診療準備 ②診療補助 ③インシナルプレパレーションにおける歯科衛生士の仕事の見学と理解)。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士によるチームアプローチの流れを理解すること。包括的歯科臨床において、実習で学んだ知識と技術を少しでも身につけて今後に生かしてもらう。

【目標】・診療室の清掃、診療器具類の消毒、滅菌法などを理解する・各種の充填材料、セメント類の取り扱い法を理解し、治療の準備と見学、補助を行なう。

・歯科医院における歯科衛生士の業務内容を理解する・チームの一員として協働し、業務を展開することができる

### 授業計画・内容 (進捗・予定)

回数	内容	備考
1回目	臨床実習オリエンテーション	以下、臨床実習指導教員
2回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑫冠・橋義歯着装	浅野 倉栄、片山 繁樹、
3回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑬アルジネート印象採得	鴨志田 義功、鈴木 東次、
4回目	小児歯科治療の知識・介助・理解①初診見学	八幡 牧雄、高橋 宏嘉、
5回目	小児歯科治療の知識・介助・理解②非協力児介助	小泉 日出一、後藤 哲哉、
6回目	小児歯科治療の知識・介助・理解③歯冠修復(乳歯冠以外)	三條 京子、秋本 尚武、
7回目	小児歯科治療の知識・介助・理解④歯髄処置	夏堀 祥二郎、酒井 康二、
8回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑤生活歯髄切断法	伊藤 孝介、大橋 延弘
9回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑥抜髄・根管治療・根管充填	地挽 雅人、小石 健
10回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑦咬合誘導	川崎 正仁、鈴木 弘毅
11回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑨障害児・者の介助	
12回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑩予防処置・予防填塞・フッ化物塗布	
13回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑪保健指導	
14回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解①矯正相談	
15回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解②資料採得	

### 評価方法

知識・技術・実習態度・身装・口頭試験 特に、個人の実習に対する積極性及び総合的判断能力を重点的に評価する。

### 教科書

教科書 : 「専門科目の教科書」

### 副読本・資料

参考書 : 「臨床実習帳」

### その他

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.42-2

授業科目名	臨床実習(後半)	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 臨床実習歯科医院 勤務歯科医師  氏名 下記備考欄参照
16 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解③顎外固定装置作製・調整			備考
17 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着①			以下、臨床実習指導教員
18 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着②			浅野 倉栄、片山 繁樹、
19 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着③			鴨志田 義功、鈴木 東次、
20 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着④			八幡 牧雄、高橋 宏嘉、
21 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着⑤			小泉 日出一、後藤 哲哉、
22 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:エッジワイズ法について			三條 京子、秋本 尚武、
23 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:拡大装置			夏堀 祥二郎、酒井 康二、
24 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:舌側弧線装置			伊藤 孝介、大橋 延弘
25 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:保定装置			地挽 雅人、小石 健
26 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:口腔内写真			川崎 正仁、鈴木 弘毅
27 回目	歯周治療の知識・介助・理解①歯周治療			
28 回目	歯周治療の知識・介助・理解②歯周外科手術			
29 回目	歯周治療の知識・介助・理解③歯周精密検査			
30 回目	歯周治療の知識・介助・理解④歯周外科手術器具			
31 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑤歯周外科手術の準備・片付け			
32 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑥歯周外科/縫合用器具の取り扱いと介助			
33 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑦歯周包帯			
34 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑧手術後の洗浄と抜糸			
35 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑨咬合調整			
36 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑩暫間固定			
37 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑪スケーリング・ルートプレーニング			
38 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導			
39 回目	口腔外科の知識・介助・理解①初診見学(患者対応)			
40 回目	口腔外科の知識・介助・理解②初診見学(臨床診断)			
41 回目	口腔外科の知識・介助・理解③小手術の準備(術前問診)			
42 回目	口腔外科の知識・介助・理解④小手術の準備(患者の状態を観察)			
43 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑤小手術の準備(バイタルサインの正常値及びチェック方法)			
44 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥小手術の準備(術式)			
45 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑦小手術の準備(清潔域と不潔域)			

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.42-3

	授業科目名	臨床実習(後半)	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 臨床実習歯科医院 勤務歯科医師 氏名 下記備考欄参照
46 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑧小手術の準備(感染防護の確認)				備考
47 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑨小手術の準備(使用器材、器具の名称と用途)				以下、臨床実習指導教員
48 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑩小手術の準備(器具・器材の準備)				浅野 倉栄、片山 繁樹、
49 回目	口腔外科の知識・介助・理解①薬剤・麻酔剤の準備(麻酔に使用する薬剤・器具)				鴨志田 義功、鈴木 東次、
50 回目	口腔外科の知識・介助・理解②薬剤・麻酔剤の準備(使用薬剤)				八幡 牧雄、高橋 宏嘉、
51 回目	口腔外科の知識・介助・理解①患者急変時の対応①常備の救急薬剤				小泉 日出一、後藤 哲哉、
52 回目	口腔外科の知識・介助・理解②急変時に使用するモニタリング機器				三條 京子、秋本 尚武、
53 回目	口腔外科の知識・介助・理解③AED				夏堀 祥二郎、酒井 康二、
54 回目	口腔外科の知識・介助・理解④適切な対応法				伊藤 孝介、大橋 延弘
55 回目	口腔外科の知識・介助・理解①治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(普通抜歯・難抜歯・埋伏歯抜歯)				地挽 雅人、小石 健
56 回目	口腔外科の知識・介助・理解②治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯肉膿瘍)				川崎 正仁、鈴木 弘毅
57 回目	口腔外科の知識・介助・理解③治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節症)				
58 回目	口腔外科の知識・介助・理解④治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(舌小帯短縮術・上唇小帯過短症)				
59 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑤治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯の脱臼)				
60 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(骨折)				
61 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑦治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節脱臼)				
62 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑧治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(粘膜疾患)				
63 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑨治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(粘液腫・ガマ種・エプーリス・唾液腺腫・唾石症)				
64 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑩治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(三叉神経痛・歯槽骨整形術・顎変形症)				
65 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑪治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(口唇口蓋裂・粘膜疾患)				
66 回目	口腔外科の知識・介助・理解①抜歯後の注意と説明				
67 回目	口腔外科の知識・介助・理解①手術後の洗浄と抜糸(器具の準備)				
68 回目	口腔外科の知識・介助・理解②手術後の洗浄と抜糸(治療の介助)				
69 回目					
70 回目					
71 回目					
72 回目					
73 回目					
74 回目					
75 回目					

教授要綱 シラバス

令和3年4月1日 No.43-1

授業科目名	卒業研究	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
単位	4	単位	連絡先	〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 TEL 045- 474 -3741 携帯 E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
分類	必修	選択必修		
学年	1年 ・ 2年 ・ 3年			
学期	前期 ・ 後期			
曜日・回数	曜日	60回 120時間		
時限	限	~		
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
<p>歯科衛生士教育の中心とされてきた教授方法は、教授された内容の暗記や訓練によって専門領域の習得に多くの時間が置かれていた。しかし大きく変動する社会的要請や歯科医療の進歩に伴う歯科保健指導や予防処置の変化に対応するには、科学的根拠に基づいた情報の提供が必要だ。そこで、自主的な研究の進め方を体得することによって、専門職として求められる問題解決能力、論理的思考、批判的思考などの総合的な能力の形成・向上を目的とする。</p> <p>【目標】・既習した知識を基に、興味や関心に沿った研究テーマを設定できる。・文献検索ができ、必要な資料を収集できる。・研究論文を発表できる ・研究の実施計画を立てることができる。・研究計画に基づいて研究方法を選択できる。 ・実験、調査等の研究を実施できる。・研究結果を整理・分析できる。 ・結果分析に基づき、あらたな課題を抽出し提起できる。・論文にまとめる過程を習得する。・研究論文を発表できる</p>				
授業計画・内容 (進度・予定)			備考	
1回目	グループ作成			
2回目	研究テーマ作成			
3回目	テーマの研究1			
4回目	テーマの研究2			
5回目	テーマの研究3			
6回目	テーマの研究4			
7回目	テーマの研究5			
8回目	テーマの研究6			
9回目	テーマの研究7			
10回目	テーマの研究8			
11回目	テーマの研究9			
12回目	テーマの研究10			
13回目	テーマの研究11			
14回目	テーマの研究12			
15回目	テーマの研究13			
評価方法	①研究計画書15% ②論文50% ③口頭試問30% ④取り組む姿勢、提出期限の遵守5%⑤発表態度・内容			
教科書	最新歯科衛生士教本全教本・他各テーマに合わせた教本			
副読本・資料	最新歯科衛生士教本全教本・他各テーマに合わせた教本			
その他	【準備】1)卒業研究オリエンテーション後は自分の研究テーマを検討しておく。2)担当教員と相談し、各自の研究計画に沿ってすすめること。3)卒業研究に関する提出物が未提出または遅れた際は、最終成績より減点になる場合があるので注意する。			

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.43-2

授業科目名	卒業研究	講義 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
16 回目	テーマの研究14			
17 回目	テーマの研究15			
18 回目	論文作成1			
19 回目	論文作成2			
20 回目	論文作成3			
21 回目	論文作成4			
22 回目	論文作成5			
23 回目	論文作成6			
24 回目	論文作成7			
25 回目	論文作成8			
26 回目	論文作成9			
27 回目	論文作成10			
28 回目	論文作成11			
29 回目	論文作成12			
30 回目	論文作成13			
31 回目	論文作成14			
32 回目	論文作成15			
33 回目	研究発表内容のパワーポイント作製1			
34 回目	研究発表内容のパワーポイント作製2			
35 回目	研究発表内容のパワーポイント作製3			
36 回目	研究発表内容のパワーポイント作製4			
37 回目	研究発表内容のパワーポイント作製5			
38 回目	研究発表内容のパワーポイント作製6			
39 回目	研究発表内容のパワーポイント作製7			
40 回目	研究発表内容のパワーポイント作製8			
41 回目	研究発表内容のパワーポイント作製9			
42 回目	研究発表内容のパワーポイント作製10			
43 回目	研究発表内容のパワーポイント作製11			
44 回目	研究発表内容のパワーポイント作製12			
45 回目	研究発表内容のパワーポイント作製13			

# 教授要綱 シラバス

令和3年4月1日

No.43-3

授業科目名	卒業研究	講義 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華 教員 大西みのり・秋田由恵
46 回目	研究発表内容のパワーポイント作製14			
47 回目	研究発表内容のパワーポイント作製15			
48 回目	研究発表 練習1			
49 回目	研究発表 練習2			
50 回目	研究発表 練習3			
51 回目	研究発表 練習4			
52 回目	研究発表 練習5			
53 回目	研究発表 予行練習1			
54 回目	研究発表 予行練習2			
55 回目	研究発表 予行練習3			
56 回目	研究発表 予行練習4			
57 回目	研究発表 予行練習5			
58 回目	研究発表 予行練習6			
59 回目	研究発表 予行練習7			
60 回目	研究発表			
61 回目				
62 回目				
63 回目				
64 回目				
65 回目				
66 回目				
67 回目				
68 回目				
69 回目				
70 回目				
71 回目				
72 回目				
73 回目				
74 回目				
75 回目				

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.44-1

授業科目名	歯科衛生士総論	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 専任教員 大西みのり 他 科目担当講師、及び教員
単位	10	単位	連絡先	〒 222 -0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10
分類	必修・選択必修			TEL 045-474-3741
学年	3年			携 帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
曜日・回数	月曜日～金曜日	150回		300時間
時 限	1回 90分(45分×2)			

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

これまで学んだ歯科衛生士になるための知識の集大成が目的であり、歯科衛生士国家試験を合格できる実力を身につけることが目的である。歯科医学の基礎、臨床基礎学、治療学へと繋がる一連の学問の中で、臨床実習で体験した経験を踏まえて歯科衛生士に必須の知識を再度学ぶことで、それらの必要性を改めて認識し、総まとめを行うことで個々に理解した知識・技術を関連付け、臨床に有用な知識・技術へと着実に発展させることを目的としている。

### 授業計画・内容 (進捗・予定)

		備 考
1 回目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">模擬試験①</div>	
2 回目		
3 回目		
4 回目		
5 回目	診療補助	
6 回目	診療補助	
7 回目	予防処置	
8 回目	予防処置	
9 回目	保健指導	
10回目	保健指導	
11回目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">模擬試験②</div>	
12回目		
13回目		
14回目		
15回目	診療補助	

### 評価方法

学則に従い、147～150回目に行う模擬試験を期末試験として評価する。

### 教科書

教科書 : 「各専門科目の教科書」

### 副読本・資料

### その他

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.44-2

授業科目名	歯科衛生士総論	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名
				新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 専任教員 大西みのり 他 科目担当講師、及び教員
16 回目	診療補助			
17 回目	予防処置			
18 回目	予防処置			
19 回目	保健指導			
20 回目	保健指導			
21 回目	} 模擬試験③			
22 回目				
23 回目				
24 回目				
25 回目	診療補助			
26 回目	診療補助			
27 回目	予防処置			
28 回目	予防処置			
29 回目	保健指導			
30 回目	保健指導			
31 回目	歯科補綴①			
32 回目	歯科補綴②			
33 回目	歯科補綴③			
34 回目	歯科補綴④			
35 回目	歯科補綴⑤			
36 回目	歯科補綴⑥			
37 回目	歯科医療倫理学①			
38 回目	歯科医療倫理学②			
39 回目	} 模擬試験④			
40 回目				
41 回目				
42 回目				
43 回目	微生物学①			
44 回目	微生物学②			
45 回目	微生物学③			



# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.44-3

授業科目名	歯科衛生士総論	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名
				新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 専任教員 大西みのり 他 科目担当講師、及び教員
46 回目	口腔衛生学①			
47 回目	口腔衛生学②			
48 回目	口腔衛生学③			
49 回目	口腔衛生学④			
50 回目	解剖学①			
51 回目	解剖学②			
52 回目	解剖学③			
53 回目	解剖学④			
54 回目	口腔解剖学①			
55 回目	口腔解剖学②			
56 回目	口腔解剖学③			
57 回目	口腔解剖学④			
58 回目	組織発生学①			
59 回目	組織発生学②			
60 回目	組織発生学④			
61 回目	組織発生学⑤			
62 回目	歯科臨床概論①			
63 回目	歯科臨床概論②			
64 回目	歯科臨床概論③			
65 回目	歯科臨床概論④			
66 回目	歯科衛生概論①			
67 回目	歯科衛生概論②			
68 回目	歯科衛生概論③			
69 回目	歯科衛生概論④			
70 回目	病理学①			
71 回目	病理学②			
72 回目	病理学③			
73 回目	病理学④			
74 回目	薬理学①			
75 回目	薬理学②			

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.44-4

授業科目名	歯科衛生士総論	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名
				新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 専任教員 大西みのり 他 科目担当講師、及び教員
76 回目	小児歯科学①			
77 回目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">模擬試験⑤</div>			
78 回目				
79 回目				
80 回目				
81 回目	小児歯科学②			
82 回目	小児歯科学③			
83 回目	小児歯科学④			
84 回目	公衆衛生学①			
85 回目	公衆衛生学②			
86 回目	公衆衛生学③			
87 回目	公衆衛生学④			
88 回目	栄養指導学①			
89 回目	栄養指導学②			
90 回目	栄養指導学③			
91 回目	栄養指導学④			
92 回目	保存修復学①			
93 回目	保存修復学②			
94 回目	保存修復学③			
95 回目	保存修復学④			
96 回目	歯内療法学①			
97 回目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">模擬試験⑥</div>			
98 回目				
99 回目				
100 回目				
101 回目	歯内療法学②			
102 回目	歯内療法学③			
103 回目	歯内療法学④			
104 回目	歯内療法学⑤			
105 回目	歯内療法学⑥			

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.44-5

授業科目名	歯科衛生士総論	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名
				新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 専任教員 大西みのり 他 科目担当講師、及び教員
106 回目	歯科補綴学①			
107 回目	歯科補綴学②			
108 回目	歯科補綴学③			
109 回目	歯科補綴学④			
110 回目	歯科補綴学⑤			
111 回目	歯科補綴学⑥			
112 回目	歯周治療学①			
113 回目	歯周治療学②			
114 回目	歯周治療学③			
115 回目	歯周治療学④			
116 回目	歯周治療学⑤			
117 回目	歯周治療学⑥			
118 回目	障害者歯科学①			
119 回目	障害者歯科学②			
120 回目	障害者歯科学③			
121 回目	障害者歯科学④			
122 回目	口腔外科学①			
123 回目	口腔外科学②			
124 回目	口腔外科学③			
125 回目	口腔外科学④			
126 回目	歯科矯正学①			
127 回目	歯科矯正学②			
128 回目	歯科矯正学③			
129 回目	歯科矯正学④			
130 回目	歯科矯正学⑤			
131 回目	歯科矯正学⑥			
132 回目	保険請求額①			
133 回目	保険請求額②			
134 回目	保険請求額③			
135 回目	保険請求額④			



教授要綱 シラバス

令和 3 年 1 月 21 日

No.45-1

授業科目名	遭遇	講義 演習	担当教員	所属・役職名 株式会社 T E I ・代表取締役会長 氏名 三橋滋子 (中村優子)
単位	4	単位	連絡先	
分類	必修・ <b>選択必修</b>			
学年	1年・ <b>2年</b>			
学期	<b>前期</b> ・後期			TEL
曜日・回数	木曜日 10回	40/60時間		携帯
時限	3、4 限	13:00~16:10		E-mail
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人に求められる「ビジネス・マナー」「遭遇」の基本を学ぶ</li> <li>・歯科衛生士として現場で即実行できるように講義だけでなく、ロールプレイを中心とした実践的授業を行う</li> </ul>				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備考	
1回目	オリエンテーション・「遭遇概要」			
2回目	挨拶・表情・笑顔・身だしなみ			
3回目	話し方と声・コミュニケーション			
4回目	言葉遣い・敬語			
5回目	立ち居振る舞い(姿勢・立ち方・座り方)			
6回目	立ち居振る舞い(来客対応・名刺交換・物の受け渡し)			
7回目	電話応対			
8回目	文書の書き方(ビジネスメール含む)・冠婚葬祭			
9回目	クレーム対応			
10回目	まとめ・テスト			
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
<b>評価方法</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 出席日数</li> <li>2) 授業態度</li> <li>3) 終了試験</li> </ol>				
<b>教科書</b>		「遭遇」 — 歯科衛生士に求められる遭遇の基本 —		
<b>副読本・資料</b>				
<b>その他</b>				

# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.45-2

授業科目名	医療接遇	講義 演習 実習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華
単位	4	単位	連絡先	〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-10 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
分類	必修	選択必修		TEL 045- 474 -3741
学年	1年・2年・3年			携 帯
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
曜日・回数	木曜日	5/15回 20/60時間		
時 限	3~4限	13:00~14:30,14:40-16:10		

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科医療の臨床現場で求められる「医療接遇マナー」の基本を学び実行できるよう身につける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考
1 回目 組織人、医療人としての基本姿勢	
2 回目 上司、同僚に対するマナー	
3 回目 歯科医療現場における患者様対応	
4 回目 歯科医療現場での身だしなみ(髪型、メイク等)	
5 回目 テスト	
6 回目	
7 回目	
8 回目	
9 回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

### 評価方法

学則の試験規定で評価する

### 教科書

配布プリント

### 副読本・資料

必要に応じて適宜資料を配布、スライドにて資料を提示する

### その他

授業内容をよく復習し、臨床実習で実践する。

# 教授要綱 シラバス

令和3年1月19日

No.46

授業科目名	情報処理	講義 演習	担当教員	所属・役職名 HML株式会社 代表取締役 氏名 鹿股 宏章	
単位	1	単位	連絡先		
分類	選択必修				
学年	2年				
学期	前期			自宅	
曜日・回数	火曜日	8回		16時間	携帯
時限	3、4限	～			E-mail
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b> Office (Word、Excel、PowerPoint) の基本的な使い方から、実践まで、PCを使い習得を目指す。 仕事に必要なITリテラシー、ITセキュリティ等についても事例を紹介しながら習得。					
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>			備考		
1回目	PCの基本操作、Officeとは、セキュリティ、ITリテラシー				
2回目	Word基礎(文字入力、フォント設定等、キーボード操作、印刷、保存等)				
3回目	Word実践(文章作成、図や写真の挿入、インデント等)				
4回目	Excel基礎(データ作成、表計算、簡単な関数等)				
5回目	Excel実践(グラフ作成、便利な機能等)				
6回目	PowerPoint基礎(文章作成、わかりやすいプレゼン資料の作成方法等)				
7回目	PowerPoint実践(図や写真の挿入、アニメーション)				
8回目	試験(課題作成)				
9回目					
10回目					
11回目					
12回目					
13回目					
14回目					
15回目					
<b>評価方法</b> PowerPointでプレゼン資料を作成し、その内容及び表現内容で評価。 文章作成、表作成、図や写真の挿入など、Word、Excelの要素も加味した試験内容。					
教科書	できるWord&Excel&Powerpoint 2016				
副読本・資料					
その他					

教授要綱 シラバス

令和3年1月22日

No.47

授業科目名	医療倫理学	○講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	鶴見大学 名誉教授 関根 透
単位	2	単位	連絡先	TEL	
分類	必修・ <b>選択必修</b>			携帯	
学年	1年・○2年			E-mail	
学期	前期・○後期				
曜日・回数	金曜日	15回 30時間			
時限	1限	9:00~10:30			
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>					
<p>現在の日本の医療倫理は、国際的な「生命倫理」を根幹として実施されているので、患者や被験者の生命や人権を尊重する医療が行われている。従って、患者の基本的な人権、患者の自己決定権の尊重、国際的な倫理規範、インフォームドコンセント、たばこの問題等を具体的に説明する。</p>					
<b>授業計画・内容（進度・予定）</b>				備考	
1回目	オリエンテーション・現在日本の複雑な医療倫理の状況				
2回目	患者の基本的な人権を尊重した医療倫理				
3回目	国際的な倫理規範の内容				
4回目	プロフェッショナルの倫理と健康増進				
5回目	日本の医療倫理の流れ(1)				
6回目	日本の医療倫理の流れ(2)				
7回目	倫理的医療対話と信頼関係造り				
8回目	生命医療倫理とタバコの問題				
9回目	インフォームドコンセント				
10回目	生と死の倫理的問題				
11回目	倫理審査委員会と治験審査委員会				
12回目	安楽死と尊厳死、実験動物の倫理				
13回目	科学者の倫理、利益相反と不正行為				
14回目	医療倫理のまとめ、質疑応答、試験について				
15回目	択一式の試験(45問)と語句の説明の試験(1問)				
<b>評価方法</b>					
試験結果、出席率、出席態度、提出物を総合的に評価する。					
<b>教科書</b>		配布プリント			
<b>副読本・資料</b>		竹内・関根共著『医療倫理の系譜』			
<b>その他</b>					



# 教授要綱 シラバス

令和 3 年 4 月 1 日

No.48

授業科目名	介護福祉論	講義 演習 実習	担当教員	所属・氏名 連絡先 電話 E mail	浅野歯科医院院長/共生学園理事長 浅野倉栄 横浜市港北区新横浜2-6-10 045-472-5101 <a href="mailto:info@dental-hygienist.ac.jp">info@dental-hygienist.ac.jp</a>
単位	1	単位		所属・氏名 連絡先 電話 E mail	ヒューマンデンタルクリニック 院長 飯田良平
分類	必修	選択必修		所属・氏名	大橋惇也 (下記 その他欄参照)
学年	1年	2年		連絡先 電話 E mail	
学期	前期	後期		所属・氏名	
曜日・回数	木曜日	8回	16時間		
時限	3,4 限	13:00~14:30、 14:40~16:10			
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>			〈摂食嚥下障害についての基礎知識と臨床で必要となるアセスメントや訓練について学ぶ。〉		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能とその障害を理解する。 ・摂食嚥下リハビリテーションの流れを理解する。</li> <li>・摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割を理解する。 ・歯科衛生士に必要なアセスメントを理解する。</li> <li>・歯科衛生士に必要なスクリーニングテストができる。 ・歯科衛生士に必要な訓練ができる。</li> </ul>					
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				備考	
1 回目	摂食嚥下機能とは				
2 回目	摂食嚥下障害とは				
3 回目	摂食嚥下リハビリテーションと共通言語				
4 回目	歯科衛生士に必要なアセスメント				
5 回目	歯科衛生士に必要なスクリーニングテスト				
6 回目	摂食嚥下機能評価と精密検査(VE/VF)				
7 回目	訓練(直接訓練・間接訓練)				
8 回目	摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割と実際				
9 回目					
10回目					
11回目					
12回目					
13回目					
14回目					
15回目					
<b>評価方法</b>					
学期ごとの定期試験により評価する。					
<b>教科書</b>					
<b>副読本・資料</b>		配布資料あり			
<b>その他</b>		担当教員 所属・氏名 社会福祉法人メゾンウェルト 大橋惇也			